

令和5年度文部科学省事業
「発達障害のある児童生徒等に対する支援事業」

令和5年度 通級による指導 自立活動事例集



令和6年2月
香川県教育委員会

令和5年度版の作成にあたって

香川県教育委員会では、県内の「通級による指導」の充実に向けた取組のひとつとして、通級による指導担当教員協議会を設け、担当者同士で、実態把握や指導のあり方、教材協議等についての情報交換を行ったり、アドバイザーからの指導助言を受けたりしています。

「通級による指導」では、通常の学級に在籍する障害のある児童生徒に対し、自立を目指し、障害による学習面や生活面の困難さを改善・克服するため、一人ひとりの状況に応じた自立活動の指導を行っています。

通級による指導担当教員協議会では、自立活動の指導について、各学校での実践報告を持ち寄って、事例検討や、指導方法、教材について協議を行っています。その際の実践報告をまとめ、通級による指導のヒントにさせていただくために、毎年、冊子として公表、配布しています。実践報告の中には、素晴らしい成果につながった事例だけでなく、成果にはつながらなかった事例も含まれていますが、報告した先生の気づきや改善のアイデアも貴重な実践の情報と捉えて掲載しています。

自立活動の指導は個別に計画されるものですので、本冊子の事例そのままを授業で行うことはできないかもしれませんが、指導のヒントや、教材の引き出しとしてご活用いただければ幸いです。

※なお、文部科学省においても、通級による指導を担当する教員のために「初めて通級による指導を担当する教師のためのガイド」を刊行しています。

「初めて通級による指導を担当する教師のためのガイド」令和2年3月
文部科学省 初等中等教育局 特別支援教育課



実践事例目次



【小学校：学習面・生活面・心理的な安定に関する課題への指導】

自信をもって漢字や片仮名を書くことができるための指導	1
読み書きにつまずきを示す児童への指導	2
ADHD 傾向のある児童への SST 指導	3
コミュニケーションがうまく取れない児童への指導	4
気持ちをコントロールするための指導	5
集中して切り替えをうまくしながら学習するための指導	6
集中が続かず、漢字の読み書きに苦手意識がある児童への指導	7
基本的な学習リズムを身に付けるための個に応じた指導	8
読み書きが苦手な児童への指導	9
不安解消の指導—ソーシャルストーリーを用いて—	10
児童が興味をもつ活動を取り入れ、楽しんで書くことができる指導	11
スモールステップでカタカナに興味をもたせるための指導	12
相手の気持ちや感情に配慮した伝え方を身に付けるための指導	13
発音が不明瞭な児童のための指導	14
感情を表出したり、感情を読み取ったりするための指導	15
漢字やひらがな、やさしい文章の読みの力を高めるための指導	16
毛筆の授業で困りごとのある児童への指導	17
安定した人間関係づくりと自己理解のための指導	18
適切な会話のコミュニケーションを引き出すための指導	19
集中が続かず、算数に苦手意識がある児童への指導	20
聞く力を付けるための指導	21
できることを増やして自己肯定感を高め、前向きに取り組めるようにする指導	22
見通しを持ち、安心して学校行事に参加できるようにする指導	23
漢字や単語、短文を読むのが苦手で、文意が理解しづらい児童への指導	24
分数に苦手意識がある児童への指導	25
日常生活の中で使うスキルを獲得するための指導	26
夢マップを作成して自己肯定感を高める LD 児への指導	27
問題解決のスキルの習得を図るための指導	28
対処の仕方が分からないと固まってしまう児童のための指導	29
自分に合った学び方で学習活動に参加するための指導	30
自分の認知や書字の特性に気づき、他者が読み取れる文字を書くための指導	31
感情をコントロールするための考え方を身につけるための指導	32
不安を解消し、気持ちの切りかえをするための指導	33

【中学校、高等学校：学習面・生活面・心理的な安定に関する課題への指導】

読解力を高める指導	34
小学校漢字復習および理解度向上のための指導	35
自分の思いや考えを適切に伝える指導	36
英単語の読みの指導	37
自分の感情と上手く付き合えない生徒への指導	38
自分にできることや得意なことを考えることで自己理解を深める指導	39
日常生活に必要な語彙や知識を身に付けるための指導	40
他者へ伝えたいことを分かりやすく話すための指導	41
自分に合ったコミュニケーションの方法を考える	42
目標に向かっていくために、困難さを少なくする指導	43
コミュニケーションにおける困難さを軽減するための指導	44
英語のフォニックスルール（音と文字のルール）の指導	45
落ち着いて行動できるようになるための指導	46
じっくりと考えて、行動できるようになるための指導	47
自己理解を深め、コミュニケーション力を高める指導	48
高校卒業後の仕事の場で、指示を正確に受けるための指導	49

【小学校、中学校：言語障害・難聴に関する課題への指導】

構音障害の児童への拗音の発音指導	50
カ行音の発音指導	51
語彙を広げ、正しく読んだり書いたりする力を高める指導	52
障害理解、自己理解を深めるための指導	53
障害理解、自己理解を深めるための指導	54



小学校：学習面・生活面・
心理的な安定に関する課題への指導

小学校	自信をもって漢字や片仮名を書くことができるための指導
<p>★対象児童生徒 低学年 読み書き障害の疑い</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字を覚えるのが苦手で、促音や片仮名も正しく表記することが難しい。 知覚推理・ワーキングメモリに課題がある。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 正しい漢字（形や表記）を使って、自分の思いを伝えることができる。 <p>【自立活動 6ー(3)】</p> <p>★参考資料、有効だった教具・教材（お役立ちグッズ）等</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語あそび 小学校1・2年生 近野十兵夫 著（民衆社） 漢字あそび 小学校1・2年生 近野十兵夫 著（民衆社） 特別支援教育をサポートする読み書きにつまずく子への国語教材集 齋藤代一 著（ナツメ社） 「見る」ことは「理解する」こと 本多和子・北出勝也 著（山洋社） 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法]</p> <p>① 漢字の学習</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字ロジック・・・漢字の言葉や同じ部首の漢字を探して塗りつぶしていくと、漢字が浮き上がってくる。 まちがい漢字さがしロジック・・・間違った漢字を探して塗りつぶしていくと、漢字が浮き上がってくる。 <p>→児童は、ゲーム感覚で漢字を探すので、意欲的に取り組むことができた。いろいろなパターンのロジックがあるので、漢字の部首や形に注視することができた。</p> <p>② 促音練習</p> <ul style="list-style-type: none"> 小さい「つ」を書くプリント・・・なぞなぞに答えて、促音が含まれる言葉を書く。 <p>→なぞなぞを楽しみながら、言葉を書くので、楽しく取り組むことができた。片仮名の言葉の時には、片仮名の練習にもなった。</p> <p>③ ワーキングメモリを伸ばす練習</p> <ul style="list-style-type: none"> 3～4の文字を覚えよう・・・教師が言った3～4の文字を覚えて書く。 <p>→平仮名、片仮名、数字、1年生程度の漢字を織り交ぜて、ステップアップしながら問題を考えた。繰り返し行っていると、児童の記憶の仕方（初めと終わりは覚えているが、中の辺りが覚えにくいなど）が分かってくる。児童も教師も日々の活動の中で生かしていけると考えた。</p> <p>④ ビジョントレーニング</p> <ul style="list-style-type: none"> ボールに書いた文字を見つけよう・・・揺らしているボールに書いている文字を見つける。 <p>→ボールが揺れているので、児童はそこに書かれている文字を目をしっかりと動かしを見つけようとするので、ビジョントレーニングになる。また、漢字を書いている場合には、漢字の形を素早く読み取る練習になった。</p> <p>[児童生徒の様子、成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ さまざまな漢字練習をゲーム感覚で行うことで、漢字の形に気を付けて見たり、書いたりしようとする意欲を感じることができた。「また、漢字ロジックをしたい。」と児童の方からリクエストされるようになった。 ★ ワーキングメモリを伸ばす学習では、定期的に行うことで記憶する力も伸びてきた。電話番号や予定が入っている日など、今後覚えることが増えてくる。日々の生活に生かせると考えられる。 ★ ビジョントレーニングでは、覚えていない漢字では難しい。できるだけ覚えている漢字や片仮名などで行うと効果的であった。 	

小学校	読み書きにつまずきを示す児童への指導
<p>★対象児童生徒 低学年 LD</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な読み書き（仮名表記、促音、拗音など）につまずきがみられる。 「いつ・どこで・なにをした」カードを用いながら対話形式で行うことで、意欲的に学習に取り組むことができる。 学習したときは覚えていても、時間の経過とともに忘れがちである。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 読み書きがすらすらとできるようになる。 様々な活動を通して、自分の特性に合った読み書きの方法に気付かせ、学習への意欲化を図る。 <p>★参考資料、有効だった教具・教材（お役立ちグッズ）等</p> <ul style="list-style-type: none"> 多層指導モデル MIM（Gakken/海津亜希子） 「いつ・どこで・なにをした」カード（自作） 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法]</p> <p>1 毎時間振り返りを行う。 ○チャレンジシートに目標を記入し、毎時間自分で評価する。 ・「なりたい自分になるために」チャレンジシート</p> <p>2 ひらがな「めざせ よみめいじん」 (1) 多層指導モデル MIM のアセスメントを用いて、①絵に合う言葉を選んだり（ねい・ねこ・わこ）、②3つの言葉を見つけたりする（いぬ/はな/いちご）。 (2) アセスメントをした後に、ゆっくり音読をして意味が分かるまとまりになっているか確認する。 (3) 児童の身近な言葉や、興味をもつ言葉を使って短文を作り、意味のまとまりを確かめながら区切り線を引く。 （例：がっき/だんす/おんがく）</p> <p>3 ことばの学習 ○ひらがなを正確に書く。 「いつ・どこで・なにをした」を入れた文を作って読んだり書いたりする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="839 1384 1078 1563"> </div> <div data-bbox="1110 1384 1342 1563"> </div> </div> <p>・ひらがなのドリル ・多層指導モデル MIM のカード ・「いつ・どこで・なにをした」カード 【多層指導モデル MIM】 （自作）を用いて、最近の出来事について対話しながら文を作り、読み書きする。</p> <p>【「いつ・どこで・なにをした」カード】</p> <p>[児童生徒の様子、成果]</p> <p>★多層指導モデル MIM を用いることで、視覚化したり動作化したりしながら、意欲的に取り組むことができた。</p> <p>★少しずつではあるが、読み書きなどできることが増え、自信につながっているようだ。</p> <p>★学校や家での出来事を楽しそうに話すようになった。</p>	

小学校	ADHD傾向のある児童への SST 指導
-----	----------------------

★対象児童生徒 低学年2名 ADHD傾向

★対象児童生徒の特徴

- (N児)・感情のコントロールや気持ちの切り替えが苦手な勝ち負けにこだわり、負けると瞬時に暴言や暴力をはたらく。すぐに謝ったりアドバイスを聞き入れられなかったりして、友だちとトラブルになることも多い。
 - (T児)・相手の気持ちを考えることが苦手な、思ったことがすぐに口に出たり、言いたいことを話し出すと止まらなかったりする。こだわりが強く自分の思いにとらわれて、取り組むべき課題を時間内に終えられない事が多い。
- *二人とも本が好きでいろいろなことに興味をもち、物知りである。特に最強の生物の対戦等の話題が大好きである。

★指導目標

- ・相手に伝わりやすい話し方をする。【自立活動6コミュニケーション(5)】
- ・登場人物の気持ちになって友だちにアドバイスをすることで身近な問題を解決する力を養う。【自立活動3人間関係の形成(2)】
- ・うまくいかなかったり、負けたりしてもイライラせずに最後までゲームや感覚運動を行う。【自立活動2心理的な安定(1)(2)】



★参考資料、有効だった教具・教材(お役立ちグッズ)等

- ・日めくり SST カレンダー(自作)「心を元気に!! 毎日楽しく!! 動物や昆虫など、自然の工夫から学ぼう」
- ・「温かいメッセージの」ソーシャルスキル教育(明治図書)
- ・SST ワークシート(LD 発達相談センターかながわ)



自作の「日めくりカレンダー」

学習内容や指導方法、児童生徒の様子等

[学習内容や指導方法]

*日めくりカレンダーの文言を唱和する。日々の「振り返り」の際にも文言を思い出させ行動や感情をコントロールする。

①ビジョントレーニング・・・迷路・かたち探し・点つなぎ

集中力を高める。うまくいなくても最後までやり遂げることができる。

②対話タイム・・・生き物クイズ・生き物の秘密発表会・もし〇〇が□□だったら・・・

生き物について調べたことや知っていることを発表する。そのことで、要点をまとめて話したり相手に伝わる話し方を身につけたりする。

③こんなときどうする SST

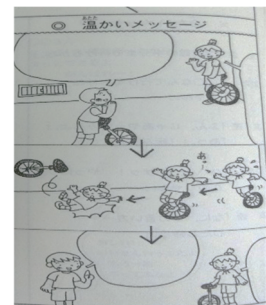
- ・・・「友だちに謝ろう」「友だちに感謝しよう」「友だちを励まそう」

日常よくある友だちとのトラブルなどの場面で主人公にどんなアドバイスをしてあげるか考えることで、自分の感情のコントロールの仕方を学ぶ。

④感覚運動やゲームによる「目と手の協応動作」の向上

- ・新聞紙チャレンジ・・・新聞紙を細くちぎって長く伸ばす競争
- ・綿棒チャレンジ・・・綿棒を高く積み上げるゲーム
- ・ビー玉チャレンジ・・・ビー玉を割りばしで挟んで移動させるゲーム

(または④簡単なルールのあるゲーム・・・ジェンガ、トランプ、カルタなど)

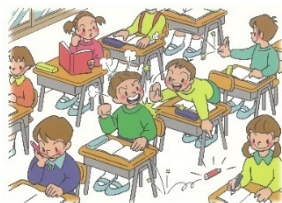



「温かいメッセージの」ソーシャルスキル教育(明治図書)

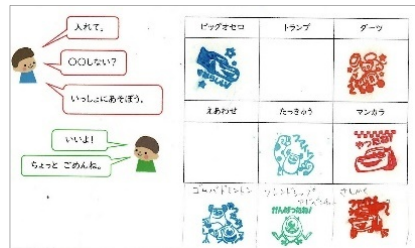
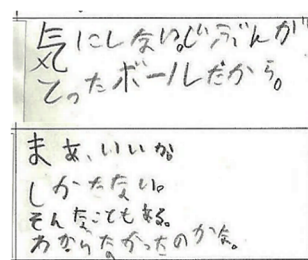
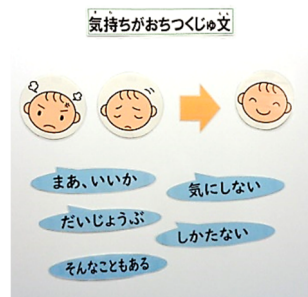
[児童生徒の様子、成果]

★(N児)・簡単なルールのあるゲームや感覚運動を二人で行うことで「ゲームは勝ったり負けたりするものだ」と気持ちを切り替えることができるようになってきた。また、SSTで主人公にどんなアドバイスをしてあげるか考えることで、自分の感情のコントロールの仕方を学ぶことができた。

★(T児)・要点をつかんで話したり相手の話を聞きながら話したりすることができるようになってきた。相手の様子を見ながら話をするようになってきた。

小学校	コミュニケーションがうまく取れない児童への指導
<p>★対象児童生徒 低学年 自閉症スペクトラム・ADHD 傾向</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ にこにこ笑顔ですごしており、弟のようにかわいがられている。 ・ 言いたいことを言葉に出すのが苦手で、友達に手が出てしまう。 ・ 友達に対して銃を撃つしぐさをする。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の言いたいことを言葉で伝えることができるようになる。 <p>【自立活動6 コミュニケーションー（2）（4）（5）】</p> <p>★参考資料、有効だった教具・教材（お役立ちグッズ）等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ソーシャルスキルトレーニング絵カード 株式会社エスコアール出版部 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法]</p> <p>これまでの学校生活の中で、友達に手が出てしまう状況が何度も見られた。また、保護者からも、自分の思っていることを言葉にすることができず、困っているのではないかとの訴えがあった。そこで、ソーシャルスキルトレーニング絵カードの中の状況の認知絵カード4より、本人に近いと思われる状況の絵を選んで見せるようにし、言葉で話すきっかけを作った。</p> <p>① 「なんだよ、痛いな！ 叩くなよ！」 ※イラストは、「ソーシャルスキルトレーニング絵カード（株式会社エスコアール出版部）」より引用</p>  <p>絵を見せると、始めに、友達の肩を叩いていることに気付いた。どうしてかな？と問い返すと、えんぴつが落ちていることに気付いてそれを教えようとしていること、続いて叩かれた友達が怒っていることにも気付いた。どうしたらいいの？と再び問い返すと、「えんぴつ落ちてるよ。（とえばいい。）」と本人から聞くことができ、1対1で丁寧に尋ねると、説明できることがわかった。</p> <p>② 「できた！僕のを見て！」</p>  <p>押されてプリントを落としている友達に気付くことはできたが何が起きているのか把握できない様子だった。後ろに怒っている友達がいるね、何に怒っているのかな？と問いかけると右下の怒っていない女の子になって「5人ぬかしてるよ。」「叩いてごめんねって言ったらいいよ。」とすることができた。ぬかしている子は何て言ったらいいのかな？と再度問いかけると、「ぬかしてごめんね。」「たたいてごめんね。」とすることもできた。</p> <p>[児童生徒の様子、成果]</p> <p>★ 実際に起こりそうな場面の絵を見ることで、困ったことが起きているということに気付くことができた。ただ、困っていることの原因が何なのかは、教師と一緒に考える必要も感じられた。そのことを担任に伝え、状況把握をすることに課題があること、それについて配慮していこうと共通理解を図ることができた。</p> <p>★ 生活の中では「トイトイトイ…」とつぶやいている本児に「トイレに行きたいの？」と問いかけるようなこともあったが、言葉で説明することができた。また、こうすればいいという言葉も聞くことができた。</p>	

小学校	気持ちをコントロールするための指導
<p>★対象児童生徒 低学年 ADHD</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年以上の知識があり運動も得意で、学級委員に選ばれる一方で、気になる行動をする友だちに過剰に反応してしまい、トラブルになることがある。感情を言葉で表現することが苦手である。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちを落ち着かせる方法を知り、友だちとのトラブルを減らすことができる。 <p>【自立活動3人間関係の形成一（4）】</p> <p>★参考資料、有効だった教具・教材（お役立ちグッズ）等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践ソーシャルスキルマニュアル 上野一彦 岡田智 編著（明治図書） ・イラスト版子どものアンガーマネジメント 一般社団法人日本アンガーマネジメント協会（監修） 篠真希+長縄史子（著）合同出版 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法]</p> <p>～気持ちを落ち着かせる呪文を使って、友だちと仲よく遊ぼう～</p> <p>①気持ちを落ち着かせる呪文を考えよう。</p> <p>○「まあいいか。」「だいじょうぶ。」「そんなこともある。」「しかたがない。」など、気持ちを切り替えたり落ち着かせたりすることができる言葉について話し合った。</p> <p>②気持ちを落ち着かせる呪文を使う練習をしよう。</p> <p>○遊びの中で実際に起こった場面や、今後起こりそうな場面を設定し、どの呪文を使えそうか考えロールプレイを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドッジボールで、自分が取ったボールを「ちょうだい」と言われた。ボールを投げるときに線を出ている人がいた。おにごっこで、タッチされた人が鬼になっていない。等 ・相手の行動の理由を考えることも有効であった。 <p>③呪文を使えた場面を振り返ろう。</p> <p>○どんな時にどんな呪文を使ったか、どんな気持ちに変わったかななどを振り返りを行うことを続けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まあ、いいか」の呪文が使いやすい、イライラが減ったと実感できたようだった。 <p>④誘って遊ぼうスタンプラリー</p> <p>○授業の最後には、「〇〇しない？」「いっしょに遊ぼう。」「入れて。」等を使って教師を誘い、ゲームをする時間を設けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉で誘うという経験を増やすことにつながった。 <p>[児童生徒の様子、成果]</p> <p>★友だちと仲よく遊びたいという本児の気持ちと実態をもとに活動を組み立てることで、自分や相手の気持ちも考えやすかったようで、自分のこととして捉えることができ、生活の中も使おうとすることができていた。</p> <p>★実際の遊びの中でのトラブルが減り、仲よく遊べたという報告が増えた。</p>	



小学校	集中して切り替えをうまくしながら学習するための指導
<p>★対象児童生徒 低学年 ADHD</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味のあることには熱心に取り組むことができるが、一斉指導では、集中して聞くことや書くことができないことがあり、全体の行動から遅れてしまう。 ・優しい人柄であるが、うまくいかないことがあると、衝動的に怒ったり泣いたりすることがある。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指示の内容を具体的に理解させたり、手順を確認したりすることで、見通しをもって、集中して作業に取り組めるようにする。状況を理解し言葉で表せるようになる。 【自立活動 2心理的な安定-(2)、4環境の把握-(2)(4)】 <p>★参考資料、有効だった教具・教材(お役立ちグッズ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ビジョントレーニング・ワークブック」(ナツメ社) ・「やさしいコグトレ」(三輪書店)宮口幸治 著 ・漢字マスター(特別支援教育デザイン研究会) ・「きくきくドリル」(文栄堂) ・「ワーキングメモリがぐんぐんのびるワークシート」(合同出版) 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法] 1 時間の流れ</p> <p>1 <u>今どんな気持ち? 予定の確認 本時のめあてを決める</u></p> <p>今の気持ちや最近の出来事を教師と話すことによって気持ちを整え、学習に取り組みやすいようにする。また、予定の確認を一緒に行い、本時のめあてを自分で決めさせ、見通しをもって納得して学習に取り組む。</p> <p>2 <u>チャレンジタイム</u></p> <p>(1)ビジョントレーニング ひらがなランダム読み/言葉探し(跳躍性眼球運動) ・点つなぎ(視空間認知)</p> <p>(2)きくきくドリル</p> <p>(3)漢字マスター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習した漢字で覚えにくいものを選んで、タブレットで練習をする。 ・タブレットの扱いに慣れることもめあてとする。 <p>3 <u>教科の内容を取り扱った指導</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひき算になる問題作りをすることで、状況を言葉で表すことを練習する。 問題文に必要な言葉を自分で選んで組み立てていく。『さんすうプログラミング』(本児の命名) <p>4 <u>トランポリン</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・頭でタッチ←真上に跳ぶことで体の軸を感じ、平衡感覚を刺激する。 ・矢印の方向を腕で示す←跳びながら一点を見続けることで眼球運動のトレーニングになる。 <p>5 <u>ふりかえり おたのしみ</u></p> <p>※それぞれの活動の終わりをタイマーで知らせ、その際、席を立ったり軽く体を動かしたりして気持ちの切り替えをする。学習の始めに自分で設定した目標が達成できたかどうかを自己評価させるとともに、教師も評価し賞賛することで、達成感を味わわせ次回の活動への意欲化を図る。</p> <p>[児童生徒の様子、成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ★見通しがもてると根気よく取り組むことができる児童であるので、気持ちをうまく切り替えつつ時間を有効に使えるようになってきた。 ★自分で決めた目標に挑戦して自己評価をするという活動を繰り返すことで、うまくできている自分を実感して自信がもてるようになり、学習にも前向きに取り組むようになってきた。 ★状況を表す言葉を使う練習をすることで、自分から教師に必要なことや困ったことを話しかけるようになった。 	

小学校	集中が続かず、漢字の読み書きに苦手意識のある児童への指導
<p>★対象児童生徒 低学年 ADHD・自閉症</p> <p>★対象児童の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちの切り替えに時間がかかり、集中できずに離席してしまうことも多い。 ・ひらがなやカタカナの読み書きが苦手である。特に漢字に対する苦手意識が強い。 ・昆虫が好きで休み時間には、友達と校庭で虫取りをして過ごしている。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集中できる時間を伸ばしていくことができる。【自立活動2心理的な安定-(1)】 ・自分に合った方法で漢字の読み書きの苦手意識を減らし、書くことができる漢字を増やすことができる。【自立活動4環境の把握-(2)】 <p>★参考資料、有効だった教具・教材(お役立ちグッズ)等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字パズル(「特別支援教育はじめのいっぽ国語のじかん (Gakken) 井上賞子著」を参考に自作) ・認知特性別漢字練習プリント(スマイルプラネット https://www.smileplanet.net/specialty/prekanji/より) 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法]</p> <p>1 集中力を高めるために</p> <p>集中できる時間を少しでも伸ばすために認知トレーニング(点つなぎ・間違い探し・言葉探し・ビジョントレーニング・3ヒントクイズ等)を取り入れた。最初の頃は、プリントを見てすぐに投げ出していた。そこで、この活動が自分ができるようになりたいことなどの役にたつかを伝え、スモールステップで本人が楽しくやれそうだと思うレベルの課題に取り組みさせた。少しまちがっていても、最後まで集中してやり切ったことを認めた。</p> <div data-bbox="1054 931 1401 1189" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: right;">【体を動かしビジョントレーニング】</p> <p>2 漢字の学習</p> <p>(1) 新出漢字の読みの練習(漢字イラストカード「かもがわ出版」) 絵と漢字の形・意味のマッチングを楽しくゲーム感覚で行った。</p> <p>(2) 漢字パズル 漢字のへんやつくりなど元の形を意識して切り分けたパズルをゲーム感覚で組み立てることを通して、漢字の形に興味をもたせ定着を図った。</p> <div data-bbox="1091 1256 1401 1503" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: right;">【漢字パズルを楽しむ】</p> <p>(3) 練習プリントを選ぶ 繰り返し書いて練習するのが苦手な場合(漢字の足し算)や聞いて覚えるより見て覚える方が得意な場合(漢字繋ぎパーツ)などの練習プリントの中から自分で1つ選ぶ。選んだプリントは、必ずやりとげるようにしている。</p> <p>[児童生徒の様子、成果]</p> <p>★ 集中力を高める活動を積み重ねることで、その日の状態による成果に波は大きいものの、できるようになったという実感がわくようになってきた。最近では教室に来ると自分から課題に取り組むようになってきた。</p> <p>★ 自分が出来そうなカードやプリントを選択して、漢字に対して少しずつ抵抗が減ってきている。漢字のパーツの意識をもてるようになってきているが、書字の定着までは、もう少しである。</p>	

小学校	基本的な学習リズムを身に付けるための個に応じた指導
-----	---------------------------

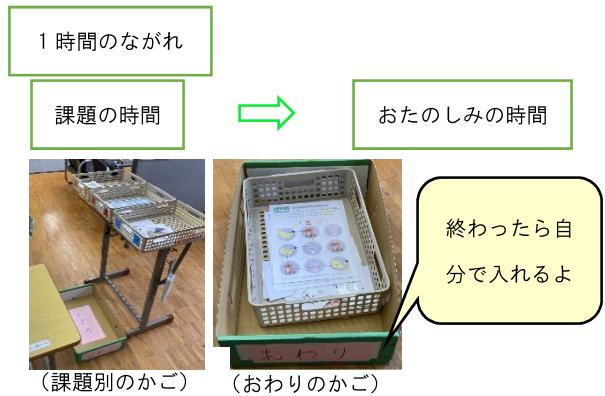
- ★対象児童生徒 低学年 多動性障害、情緒障害
- ★対象児童の課題
 - ・自分の興味のあることや自分の言いたいことを優先し、集団での活動が苦手である。
 - ・学習内容を理解するペースがゆっくりで課題をこなすことができない。
 - ・周りの状況や他人の考えを理解することが難しい。
- ★目標
 - ・学習方法を構造化して、学習習慣を身につける。【自立活動4環境の把握（4）】
 - ・絵文字カードやひらがなチップを利用し、ひらがなが読めるようにする。
- ★参考資料、有効だった教具、教材（お役立ちグッズ）等
 - ・ひらがなチップマグネット付き（自作）・「発達が気になる子への読み書き指導ことはじめ」（鴨下賢一著、中央法規）

学習内容や指導方法、児童の様子等

[学習内容や指導方法]

① 学習内容の構造化

○指導時間内に学習する内容を構造化する。
 3～4ステップ。ステップに合わせたかご、終わりのかごを準備する。
 1番のかごから始め、終わったら終わりのかごに入れて終了。次のかごの課題を始める。



②文字の読み、書きの学習

- ・興味のあるキャラクターのカードなどを使って、文字への抵抗感をなくす。
- ・語彙の確認。絵カードが表す言葉（名詞・動詞）などを確認させる。（言葉で言わせる）知らない言葉は、伝えることで、言葉の獲得にもつながる。
- ・絵カードの内容を表す言葉をひらがなチップから見つけさせる。初めは、指導者がチップを選び、児童は並び替える。習熟度に応じて、ひらがな表からチップを自分で選ばせる。濁点などがついた言葉は、やり取りをしながら、どのひらがなにつくか確認する。最後にカードを裏返し答え合わせをする。



- ★ 毎時間の活動を構造化したことで、毎回同じ流れで学習するという安心感を持ちやすく、スムーズに学習に取り組むことができた。また、かごに入っている課題の実物を見せながら、今日することを説明する時間をとった。この支援を入れることで、本児にとって「何をどれだけすればよいか」が分かやすくなった。
- ★ 指導初期の段階では、興味を引くキャラクターの下に文字を書くなどの活動を入れ、学習に向かう動機づけを行った。活動パターンが本児の中に身についてくると、他の教材にも取り組むことができた。
- ★ 本児の様子を見ながら、課題の量の調整を行いながら、無理のない範囲で学習を行い、達成感を味わえるようにした。

小学校	読み書きが苦手な児童への指導
-----	----------------

- ★対象児童生徒 低学年 広汎性発達障害
- ★対象児の特徴
 - ・片仮名を使って文を書くことができずほとんど平仮名だけの文章になってしまう。
- ★目標
 - ・覚えて使える片仮名を増やすことができる。
- 【自立活動 5身体の動き (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること】
- ★参考資料、有効だった教具・教材
 - ・ちびむすドリル
 - ・「特別支援教育はじめのいっぽ 国語のじかん」(Gakken) 井上賞子 著
 - ・「やさしいコグトレ」(三輪書店) 宮口幸治 編著

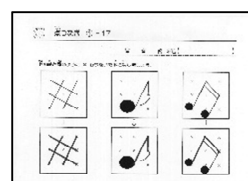
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等

[学習内容と指導方法]

覚えている片仮名を増やす

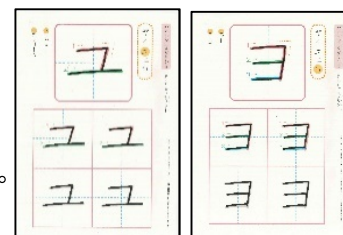
① 形をとらえる。

- ・点つなぎをして、手本をしっかりと見る習慣を身につける。
- ・始める前に、「えんぴつの先をよく見てつなぐといいね。」と助言するようにした。



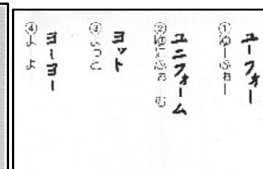
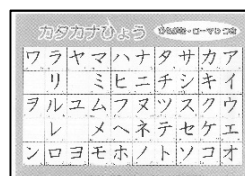
② 大きな片仮名をなぞって練習する。

- ・1時間に2文字ずつ練習することとし、無理なく取り組めるようにした。
- ・「びたっと止まる」「すうっとはらう」などと動作を音で確認した。
- ・大きな文字をなぞるようにし、形をとらえやすいようにした。



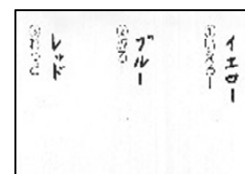
③ 片仮名表を見て調べながら平仮名を片仮名に直す。

- ・片仮名だけの表では調べることが難しかったので、片仮名と平仮名の両方が示されている表を使い、平仮名で書かれた言葉を片仮名に直す練習をした。



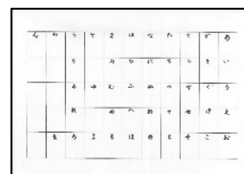
④ 好きなキャラクターの名前を片仮名に直す。

- ・最後の3問は児童の好きなキャラクターを平仮名で書き、それを表を見ながら片仮名に直す課題を用意した。



⑤ 月に1回確認テストをする。

- ・平仮名を見て、片仮名に直すテストをした。
- ・分かるところだけを書くようにした。
- ・分からないところは後でなぞり書きするようにした。



[児童生徒の様子、成果]

- ★自分の好きなキャラクターの平仮名を片仮名に直すことに特に意欲的に取り組めた。
- ★内容を精選し、課題の量を調整しておく、「これならできそうだ。」と前向きに取り組めた。
- ★覚えている片仮名がしだいに増えていくにつれて、国語などの音読にも自信ができてきた。

小学校	不安解消の指導 ―ソーシャルストーリーを用いて―
<p>★対象児童生徒 低学年 ASD</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一定の言語能力が認められる。基本的な学習事項の内容理解や記憶ができる。 ・悪天候時や避難訓練、防災学習時に不安症状を示す。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不安を軽減し、学校行事等に参加することができる。 <p>【自立活動2ー(1)心理的な安定】</p> <p>★参考資料、有効だった教具・教材（お役立ちグッズ）等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自作資料「わたしはだいじょうぶ」 ・自作資料「わたしはおてんきがすき」 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法]</p> <p>① テキストを読む。</p> <p>ソーシャルストーリーの手法を用いて、悪天候や防災をテーマに「わたしは」から始まる資料を自作する。それを児童と一緒に繰り返し読む。</p> <p>② テキスト資料の内容について応答する。</p> <p>「わたし」ってだれなの？→「〇〇（氏名）だね」 「どんなとき？」→「じしん」「かじ」「おてんき」「あめ」など 「どうして？」→「あたまはたいせつ」「ひかりをとどけてくれる」「みずがなくなる」 「せんせいやともだちがいる」「いのちをまもる」など 「何ができるの？」→「ほうそうをきく」「あんぜんにひなん」「あたまをまもる」 「なかない」「いうとおりにする」など 「どんなきもちなの？」→「こわくない」「だいじょうぶ」「すき」「あかるい」「たのしみ」 「ありがとう」「うれしい」「あんしん」「こまる」「よろこんで」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="365 1279 703 1711" style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">わたしは だいじょうぶ</p> <p>わたしは じしんや かじは こわくありません。</p> <p>だいじょうぶです。</p> <p>わたしは じしんや かじに あった ときでも あんぜんに ひなんする ことが できます。</p> <p>わたしは みみを すまして ちいさいの おとや ほうそうを きく ことが できます。</p> <p>わたしは はじめに つくえの したに はいり じぶんの からだを まもります。</p> <p>とくに あたまは たいせつ なので わたしは かぶりものを して あたまを まもります。</p> </div> <div data-bbox="935 1279 1273 1711" style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">わたしは おてんきが すき</p> <p>わたしは、おてんきの よい日が すきです。</p> <p>たいようが あかるい ひかりを とどけて くれる からです。 たいようの おかげで、きもちも あかるくなります。</p> <p>ときどき くもが でて、たいようが かくれる ときがあります。</p> <p>すこし くらく なっても、わたしは なきません。 あめが ふると、みずが たまります。</p> </div> </div> <p>③ 自分の生活を振り返り、本児の心情を受け止める。</p> <p>「〇〇さんは、どうしていますか？どう思いますか？どうしたいですか？」など</p> <p>[児童生徒の様子、成果]</p> <p>★ 資料は抵抗なく繰り返し読み、内容を理解することができているが、まだまだ自分と切り離している様子もうかがえるため、さらに日常と結びつける指導が必要だと考える。</p>	

小学校	児童が興味をもつ活動を取り入れ、楽しんで書くことができる指導
-----	--------------------------------

★対象児童生徒 中学年 学習障害

★対象児の特徴

- ・覚えられていない平仮名があり、「書く」ことの経験を積み重ねられていない。
- ・語彙力が乏しく、身の回りにあるものやよく使う言葉でも知らないことがある。

★目標

- ・書くことへの抵抗感を減らし、平仮名や片仮名、低学年相当の漢字の読み書きができる。
- ・身の回りにあるものやよく使う言葉に意識を向け、語彙を増やす。

【自立活動6ーコミュニケーション(2)】

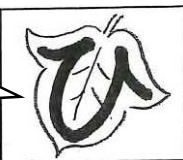
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等

[学習内容と指導方法]

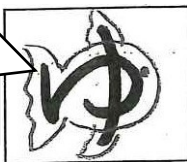
① 文字の形をイメージとして認識し、覚えられるようにする。

- ・文字の形を身近なもの結び付ける。

「ひ」は、あさがおの葉っぱに似ているね。



「ゆ」は、金魚がゆらゆら泳いでいるみたい。



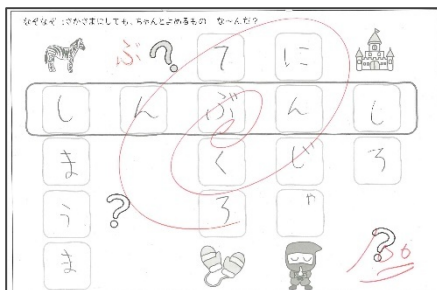
- ・平仮名と片仮名の中から、似ている文字を探す。

ひらがな	カタカナ	ひらがな	カタカナ
キ	キ	ニ	ニ

<https://soegiprint.com/>

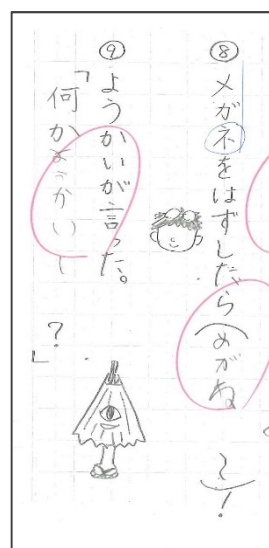
② 児童が楽しんでできる活動により書くことへの抵抗感を減らし、「書く」ことの経験を積む。

- ・なぞなぞ

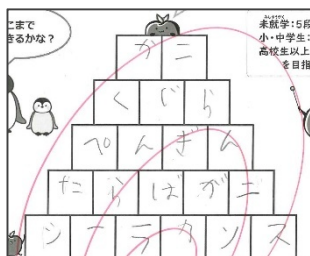


<https://emopri.com>

- ・ダジャレクイズ



- ・言葉集め



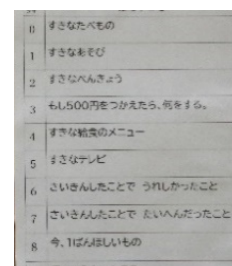
<https://monomanabi.co.jp>

[児童生徒の様子、成果]

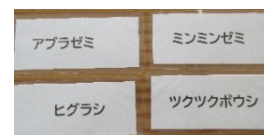
★ 文字を何かと結び付けて覚えることで、お手本を見ずに平仮名や片仮名を書けるようになってきた。また、自分から文字の特徴を言葉で表すこともできた。

★ 児童が好む活動を取り入れることにより、楽しんで書くことができた。同時に、身の回りにあるものや人の名前などに意識を向けられ、新たに語彙を獲得することにつながった。また、児童自身が生活の様子について話すきっかけとなり、児童理解につながり、児童と教員との人間関係が深まったように感じる。

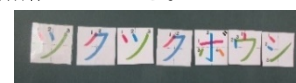
小学校	スモールステップでカタカナに興味をもたせるための指導
<p>★対象児童生徒 中学年 LD</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み書きは苦手であるが、自分の知っていることを話すことに興味をもっている。 ・姿勢を保ち、長時間集中し続けることが苦手である。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分に合った方法でカタカナを読み書きし、進んで課題に取り組みカタカナの文字に慣れる。 【自立活動 4環境の把握ー(4) 6コミュニケーションー(3)】 <p>★参考資料、有効だった教具・教材（お役立ちグッズ）等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カタカナカード（大）、白抜きカタカナ・ひらがなカード（特別支援デザイン研究所をもとにラミネート）、CD「効果音全集②虫」（コロムビア）、虫の名前カード（自作） ・「コグトレ みる・きく・想像するための認知機能強化トレーニング」 （三輪書店）宮口幸治 編著 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法]</p> <p>① ウォーミングアップ</p> <p>○学年が上がるにつれ、集団の中で自分の思いを伝える機会が減ってきているため、自分について話す活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドジャン・・・最近の様子・好きなこと等を応答しながら話す。 <p>○視覚情報を処理することに慣れるためトレーニングを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点つなぎなど・・・点をよく見て線をつなぐ。 <p>② カタカナの読み書き</p> <p>○興味をもって学習に取り組めるよう、写真から虫を見つけ、鳴き声を聞き、虫の名前を当てるクイズを行う。正しいカタカナカードを選択する活動から書く活動へとスモールステップでカタカナを学習していく。音声と写真（意味）、文字を合わせていく。</p> <p>(1) 自然の隠し絵（図鑑から抜粋）から虫を見つけ、ホワイトボードの上に、虫の名前を10cm角のひらがなカードとカタカナカードで並べマッチングすることで理解を助ける。カタカナカードは、ペンでなぞる。</p> <p>(2) CD「効果音全集②虫」を聞き、鳴き声の虫のカードを選ぶ。</p> <p>(3) 虫の名前カードを見ながら、ばらのカタカナカードを1文字ずつ黒板に並べる。</p> <p>(4) 黒板に自分で虫の名前を大きくカタカナで書く。</p> <p>(5) 手本と見比べ、音読して、同じかどうか確かめる。</p> <p>③ 目と手の協応運動</p> <p>○視覚情報を適切に利用できるよう、紙風船を見て打つなど、体全体を使った活動を行う。</p> <p>④ 振り返り</p> <p>○学習内容や取り組みの様子を保護者や在籍学級の担任に伝える。「間違いを自分で見つけて直せていたのは、すごいよ。」など学び方が身につく声掛けをするよう心掛ける。</p> <p>[児童生徒の様子、成果]</p> <p>★写真や鳴き声を用いてクイズをすることで、学習に興味をもって取り組めた。類似のカタカナカードから正しい文字を選択して虫の名前を並べ、それを手本に文字を書くことができた。</p> <p>★手本のカタカナカードと自分で書いたカタカナを見比べ、発音することで濁音と破裂音の違いにも気が付き修正でき、自信につながった。</p>	



【アドジャントークのお題】

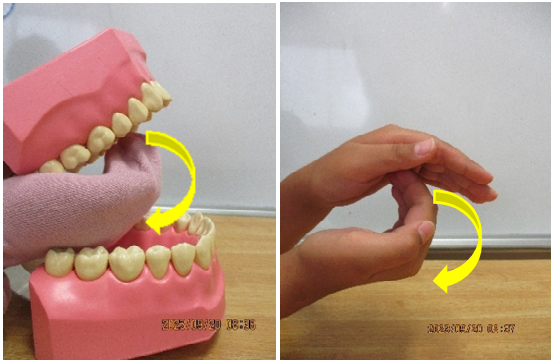



【鳴き声を聞き選ぶ虫の名前カード】

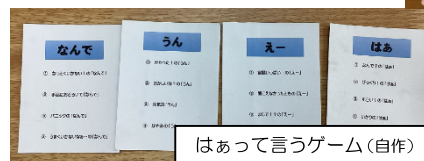


【自分で選び並べたカタカナカード】

小学校	相手の気持ちや感情に配慮した伝え方を身に付けるための指導
<p>★対象児童生徒 中学年 ADHD・LD</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し好きで思いがあふれ話に夢中になるために、会話のやりとりが成立し難い。 ・素直な態度何にでも興味を示して取り組むが、気持ちのコントロールが苦手である。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表情や声の調子を観察し、相手の気持ちや状況を理解しようとする事ができる。 ・伝えたい内容を表情や声で表そうと自ら工夫することができる。 <p>【自立活動3 人間関係の形成一(2)、(3)】</p> <p>★参考資料、有効だった教具・教材(お役立ちグッズ)等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SSTワークシート自己認知・コミュニケーションスキル編 NPOフトゥーロ 2010 ・社会面のコグトレ 認知ソーシャルトレーニング 宮口幸治 宮口秀樹 三輪書店 2020 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法]</p> <p>① 振り返りと課題把握</p> <p>○自分が困っていることに気付かない。相手が感情を害していることが分からない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今、どんな気持ち?・・・自分の気持ちに近い表情イラストを選び、その理由を説明する。 ・どれがあてはまる?・・・自らの特性をチェックシートで確認し、課題をつかむ。 <p>② 課題克服に向けたトレーニング</p> <p>○自分の気持ちを言葉に表すことが難しい。相手の気持ちやその背景が理解できない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この人はどんな気持ち?・・・表情や姿勢等から相手の気持ちを推測する。 ・がっかり?なっとく?・・・お題カード(自作)をもとにがっかりなのか、納得なのかを表情・声等で表したり、相手の表現から予想したりする。 <p>③ 生活への汎化</p> <p>○やる気はあるが、忘れやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つたえ方マイチャレンジ・・・生活に汎化した実行可能な挑戦を決め、○△×で結果を記録し、一緒に検討する。 <div data-bbox="1027 1115 1369 1368" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">※がっかり/なっとく お題カード</p> <p>[児童生徒の様子、成果]</p> <p>★ ①の自己理解シートでは、本児は「はっきりわかりやすく話す」「人の話が聞ける」等の項目に△を記入した。その折、「相手の気持ちを考えて話せるようになりたい。」という発言があった。自分の希望をかなえようと、その後の学習活動にも前向きな気持ちで取り組むことができた。</p> <p>②「がっかり?なっとく?」の活動では、がっかりの時には「声を下げる(低くする)」、納得した時には「声を大きくして、うなずくといい」という発言があった。本児は、声の調子やしぐさでも自分の気持ちを表すことができるということに気付くことができた。</p> <p>③つたえ方マイチャレンジでは、友達が元気になれるようにと「朝は大きな声でおはようと言う」ことを挑戦目標に設定した。実践の結果を記録し、相手の反応を振り返る活動等を通して、友達の表情や反応にも配慮しようとする言動が増えた。</p> <p>★ 課題把握の場面では、本児と教師の意識にずれが生じるのではと心配したが、それは無用であった。これからも、子供たちと話し合い、課題解決に向けて共に考えていきたい。</p>	

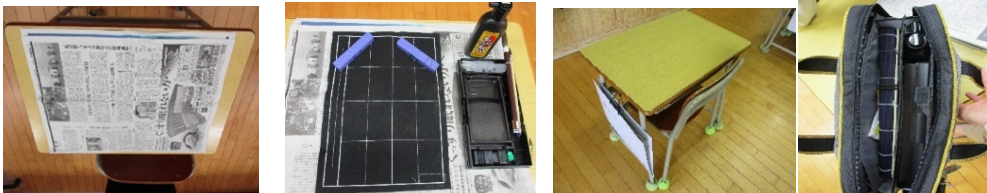
小学校	発音が不明瞭な児童のための指導
<p>★対象児童生徒 中学年 ADHD・発音が曖昧である。</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の出来事について話をしたり、物語の音読をしたりするのが好きである。 ・幼児語が残り滑舌もよくない。特にシ行とダ行の発音の使い分けができにくい。 ・発音が曖昧な言葉は、表記すると誤っていることが多い。 <p>【自立活動6コミュニケーション（2）】</p> <p>★有効だった教具・教材（お役立ちグッズ）等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口形カード ・録音機器 ・鏡 ・歯形の模型 ・ビンゴ用紙 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 舌の動きのイメージ化をして「レ音」と「デ音」の違いを確認する。 2 舌の動きを手を使って動作化して覚える。 3 口と顎の体操を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・「あいうえお」の口形 ・顎を左右に動かす。 ・下顎を下ろしたり上顎を上げたりする。 4 教師の言った言葉の聞き取りをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・まねっこ ・〇×クイズ 5 単音での練習をゆっくり行い、鏡を見ながら舌が上顎の裏につく感覚に慣れる。 6 複数音の音読を行う。 <ol style="list-style-type: none"> ① 1～3の活動を十分にした後、「レ音」の入った言葉の練習をする。 ② 滑らかに舌が動くようになったら、録音をして発音を確かめる。 ③ 単語カードを使って選んだカードの発音をするようにした。言いにくい時は、短音の練習に戻って、鏡で舌の動きを何度も確かめるようにする。 ④ その単語カードの中から作成したビンゴゲームでも言葉をすぐに発音できるような練習をする。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div data-bbox="948 703 1246 745" style="text-align: center;"> <p>【レ音の舌の動き】</p>  </div> <div data-bbox="932 1191 1230 1234" style="text-align: center;"> <p>【デ音の舌の動き】</p>  </div> </div> <p>[児童生徒の様子、成果]</p> <p>★ 『「チョコレート」という発音をよくしたい。』という児童の願いからの指導だったので繰り返しの練習でも意欲が下がることなく取り組めた。舌の動きがだんだん滑らかになっている。</p> <p>★ 舌の動きを手で動作化することで、上顎に舌をつけるということの理解につながった。そして、鏡を見て舌の動きをコントロールすることができるようになると、日常生活の中でも自分から言い直すようになった。</p>	

小学校	感情を表出したり、感情を読み取ったりするための指導
<p>★対象児童生徒 中学年 ADHD・学習障害・自閉症</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 思ったことをすぐに口にしたり、行動に移したりするので、学習中での新たな気付きがよくあるが、友達とのトラブルも多い。後から自分の行動を振り返ることはできる。(A児) 学習中に自信があったり、答えを発見したりしたときは、一方的にしゃべり続ける場面が見られる。逆に、困った時には、押し黙ってしまうことがある。(B児) <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> A児：相手の表情を読み取って感情を理解することができる。 B児：自分の気持ちを相手に伝えることができる。 <p>【自立活動 6コミュニケーション(1)】</p> <p>★参考資料、有効だった教具・教材(お役立ちグッズ)等</p> <ul style="list-style-type: none"> 顔パズル(自作) はあって言うゲーム(幻冬舎エデュケーション) 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法] (全3～4時間)</p> <p>① 自分の目標を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 最近の自分の様子を振り返り、自分の課題を克服するための目標を設定する。毎時間の始めに自分の目標を確認するようにする。 <p>② 相手に気持ちを伝えたり、読み取ったりするソーシャルスキルトレーニングをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 顔パズル 色々な表情を作り、「〇〇な気持ちの顔」、「〇〇したときの顔」と想像した。 「はあ」というゲーム 『なんで?の「はあ」』、『怒りの「はあ」』と言ったテーマに沿って、自分の気持ちを表出し、相手に読み取ってもらおう。 「はあ」というゲーム レベル2 トラブル事例の当事者になりきって感情を表現したり、その感情を読み取ったりする活動を行う。また、「はあ」の代わりに自分の感じた気持ちを伝える方がより相手が理解してくれることも学ぶ。 <p>③ 振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 振り返りの「わ(分かったこと)、た(楽しかったこと)、が(頑張ったこと)、し(知りたいこと)」の観点を提示し、どれかを選んで振り返りをする。 <p>[児童生徒の様子、成果]</p> <p>★ A児</p> <ul style="list-style-type: none"> ゲーム開始当初は、うまく表情を読み取ることが難しかったが、顔パズルを行うことで、表情は、目、眉、口を見ればよいことを学び、ゲームや活動に活かそうとしていた。 回数を重ねていくと、声や動作に気を付け、だんだん感情を読み取ることができるようになっている。 <p>★ B児</p> <ul style="list-style-type: none"> 始めは、恥ずかしがって表現したり、発信したりすることが難しかったが、A児が楽しそうに活動したり、自分の表現を理解してくれたりしたことで、次第にゲームに対して前向きに取り組むようになった。 自分から「もっとやってみたい。」と言い出すようになり、表現の仕方も工夫しつつある。 	



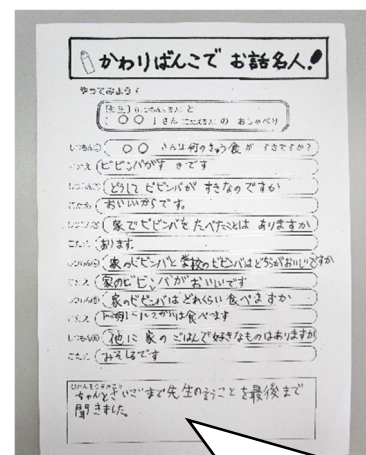
はあって言うゲーム (幻冬舎エデュケーション)

小学校	漢字やひらがな、やさしい文章の読みの力を高めるための指導
<p>★対象児童生徒 中学年 ADHD</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 興味ある「電車」について熱中し、家庭でインターネット等を使って調べ、内容をいきいきと話することができる。 漢字を読んだり書いたりすることが苦手である。 単語をまとまりとして読めず、逐次読みをしてしまう。文の区切りの理解が難しい。文章を読んで、意味を理解することが困難である。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 易しい説明文を正しく音読することができ、文章内容を理解することができる。 下学年の漢字、生活でよく使う漢字を中心に読める漢字を増やしている。 <p>★参考資料、有効だった教具・教材（お役立ちグッズ）等</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ことばのテーブル おはなし読解ワーク」 言語・学習指導室 葛西ことばのテーブル 「M I Mーアセスメント用プリント集」 株式会社 学研教育みらい 「意味から覚える漢字イラストカード」 かもがわ出版 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法]</p> <p>① 易しい文章の読み取り</p> <p>○文章を言葉のまとまりで捉えられるようにするために、文節の区切りを見つける練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文節区切りプリント <ul style="list-style-type: none"> (1) 15文字程度の短文プリントを用意し、区切り線を入れさせる。 (2) 後でゆっくり音読して意味が分かるまとまりになっているか確認、訂正させる。 M I Mーアセスメント用プリント <p>言葉を正しく読めるようになるために、文字を音の変換する力を高める練習をする。</p> <p>○初めて見る文章（「ことばのテーブル おはなし読解ワーク」）に慣れる練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 黙読し、内容をつかませた後、言葉のまとまりを意識して音読させる。音読は文字を指で押さえたり、言葉を指ではさんだりしながら一音一語、確実にできるようにする。 (2) 問いに答え、内容が正しく読み取れているか確認する。 <p>② 漢字を覚える</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字カード…漢字フラッシュカードで漢字を読む。読めない時はさし絵を見て、読みや意味を推測する。 好きな電車の名前の漢字を読んだり書いたりする。 <p>「たのしいプラレールかるた」、好きな電車の写真を見ながら漢字を書くワークシート</p> <p>[児童生徒の様子、成果]</p> <p>★指で押さえながら読むことにより、ことばの区切りが見つけやすいようになってきた。</p> <p>★易しい文章の読み取り練習（「ことばのテーブル」）は、文章量、問題量が少なく、分かち書きされていて、漢字には読み仮名をふっているのので、取り組みやすい。問いに対し、文章中の言葉で答えることができるようになった。毎時間積み重ねることで、初見でも易しい文章の場合は、音読が速くなってきた。苦手意識が軽減されつつある。</p> <p>★好きな電車の名前の漢字を読んだり、ワークシートに書いたりすることで、分からない漢字も調べて、漢字で書いてみたいという意識が高まっている。電車という自分が知りたい情報に触れることが、意欲化につながったと考えられる。</p>	


小学校	毛筆の授業で困りごとのある児童への指導
<p>★対象児童生徒 中学年 自閉症スペクトラム、ADHD</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一斉指導での理解は苦手であるが、何事に対しても挑戦しようとする姿が見られる。 ・友だちと一緒に活動することを好み、雰囲気を楽しむこともできる。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毛筆の授業での手順やきまりを可視化することで困りごとを解決することができる。 <p>【自立活動3ー(4)】</p> <p>★参考資料、有効だった教具・教材（お役立ちグッズ）等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毛筆授業の準備物、手順シート（自作） ・練習後の半紙入れ（自作） 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>毛筆の時間、準備を先生や友だちに手伝ってもらったことがあるので、担任と「通級の時間に何かよい解決方法はないか一緒に考えてみるといいかも？」ということから、担任、本人より相談を受けたので一緒に考えることになった。</p>	
[学習内容と指導方法]	
① 毛筆の時間を振り返る。	
○困りごとは何なのかを考えて明確にする。	
<p>「準備に時間がかかる。」「何をどこに出すのか迷う。」「服や手が汚れる。」「席の周りに物が広がる。」⇒『一人ですいすいできるようになりたいな。』</p>	
② 困りごとの解決方法を考える。	
○解決するために、どのような準備が必要か、友だちはどのような工夫をしているのか。	
<ul style="list-style-type: none"> ・準備に時間がかかる。何をどこに出すのか迷う。→ 手順が分かるものを作る。 ・服や手が汚れる。→古い体操服など、汚れてもよい長袖シャツを着る。 ・席の周りに物が広がる。→何が？→習字道具バッグ、書き終わった半紙 	
<p style="text-align: center;">↓ ↓</p> <p style="text-align: center;">机横の荷物を整理して机横のフックに掛ける。 半紙を入れる書写バッグを作る。</p>	
③ 手順が分かるもの/書写バッグを作る。	
○実際に使うことを想定して、困りごとを解決できるか確認しながら作る。	
<p>「友だちの書写バッグを参考にしよう。」「写真があると分かりやすいよ。」</p>	
	
[児童生徒の様子、成果]	
<p>★困りごとを自分で解決しようとしていることが「すごい。」と満足そうで、シートを使うのを楽しみにしていた。</p>	
<p>★困りごとがある時は、周囲に相談すると一緒に考えることができるので、解決方法が見つかることが分かった。本人が気付くことで自尊感情の向上につながっているように感じた。また、自分の力でできることが増えると、その積み重ねが自分の力で解決しようと思う時のヒントになることも知ることができた。</p>	

小学校	安定した人間関係づくりと自己理解のための指導
<p>★対象児童生徒 中学年 ASD、ADHD</p> <p>★対象児童生徒の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物事に対して、マイナスに受け止めたり、かっとすることが多く、勝つことに執着する傾向がある。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の特徴や言動について、気づき、理解ができるようになる。 【自立活動 3 人間関係の形成- (3)】 ・情緒の安定、気持ちのコントロール、周囲の人との良好な関係づくり 【自立活動 3 人間関係の形成- (3)、2 心理的な安定- (3)】 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容や指導方法]</p> <p>① 相手を承認し合うゲームをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「そうだねゲーム」をする。教師とペアで、周りのものの中から一つの物を選び、「これは〇〇です。」 と一人が言うと、もう一人が「そうだね。」とうなずきながら目を合わせて返事をするゲームで、これをする事で、承認し合う方法を知り、気持ちよさを感じることができる。 <p>② 自分のトリセツ、自己理解という言葉と意味について知り、今までの自分を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今までの経験を想起し、「自分のトリセツ」は、反省したり後悔したりしたことを生かせるものというプラスのイメージがもてるようにする。 ・ 自分を振り返りやすくするために、自分アンケートを用意し、記入していきながら自然に自分を振り返ることができるようにする。 ・ 考えられたことをほめて、肯定的に受けとめることで、行動に生かす気持ちを盛り上げるようにする。 <p>③ 自分のトリセツに自己理解したことを記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「こんな時、どうしたらいいか」自分で考える。まずは自分がとりたい行動を決めてみて、その後で友だちや教師に意見を求め、次の行動への意欲をもてるようにする。 ・ 自分のことを深く丁寧に振り返ることは、自分を大切にしていることになるということを伝える。 ・ 分かりにくいときには、解決方法の例を挙げ、選べるようにする。 <p>④ 今日の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分をふり返り、なりたい自分になっていくために考え工夫することの意義を押さえる。 ・ なりたい自分のめあてを短い言葉でカードに書いてトリセツに貼っておくことで、次は行動への練習への期待がもてるようにする。 <p>[児童生徒の様子、成果]</p> <p>★ 「あ、今ぼく、かっとしているな」と、少しずつ気が付くようになり、上級生から間違っ注意されたときも、以前なら怒っていたところだが、我慢して、丁寧な言葉で自分のことを説明できるようになってきた。</p>	

小学校	適切な会話のコミュニケーションを引き出すための指導
<p>★対象児童生徒 中学年 自閉症スペクトラム</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聴覚からの情報よりは、視覚からの情報の方が正しく理解できる。 ・会話が常に一方的で、相手の話が終わらない間に自分の言いたいことだけを話すことがある。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な会話の方法を学ぶために「かわりばんこでお話名人」を行い、楽しみながら会話のスキルを身に付けることができる。 <p>【自立活動6コミュニケーションー（4）】</p> <p>★参考資料、有効だった教具・教材（お役立ちグッズ）等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新版 話すこと・聞くことワークシート 小学校低学年（学事出版）石井 淳 著 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法]</p> <p>①ワークシートの吹き出しに合わせて、指導者と交代で話したい事を書き込んでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○視覚情報に強いという児童の強みを生かし、口頭によるやり取りとりよりも、ワークシートを使ったやり取りを取り入れ、よりねらいに沿った活動となるよう教材化の工夫を行う。 ○交代で話をするということが視覚的に理解できるよう、話をする人が交互になった吹き出しが書かれたワークシートを用意する。 ○ワークシートに書き込む内容は児童が好きな給食の話題にすることで、会話の楽しさが感じられるようにする。 ○指導者が書き込んでいる時、口を挟まず待つことができたら、「上手に待っているね」と即時に称賛し、ルールを守って会話を行うことで、相手も自分も気持ちよく会話が行えることを伝える。 <p>②ワークシートを見ながら実際に会話をしてみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童の書いた言葉はできるだけ受容的な態度で受け止め、安心感をもって活動に取り組めるようにする。 ○実際に会話をする場面では指導者が表情豊かに会話を行うようにすることで、交代で話をすることの楽しさを感じられるようにする。 ○交代で話をする则会話がキャッチボールみたいになって楽しいということを伝え、次は友達とお話のキャッチボールをやってみようと呼びかけ、日常生活への意欲化を図る。 <p>[児童生徒の様子、成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ワークシートに取り上げる内容は児童が興味・関心のある項目（好きな給食・好きな乗り物・好きな昆虫など）にしたことで、意欲的に活動に取り組むことができた。 ★通級で学んだことを学級担任にも伝えることで、クラスでも相手の話すことを最後まで聞ける場面が少しずつ増えてきた。 	



かんそう
ちゃんと先生の言うことを最後まで聞きました。

小学校	集中が続かず、算数に苦手意識がある児童への指導
<p>★対象児童生徒 中学年 自閉症スペクトラム</p> <p>★対象児童の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習への集中が続かず、離席したり、絵を書いたり、寝てしまったりすることが多い。 ・繰り上がりがないたし算、繰り下がりがないひき算を計算するにも時間がかかり、九九を覚えていないので、算数への苦手意識が強い。 ・興味がある本を集中して読むことができる。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「できた」「分かった」といった成功体験を通し、学習への意欲の向上を図る。 <p style="text-align: right;">【自立活動 2心理的な安定－(3)】</p> <p>★参考資料、有効だった教具・教材（お役立ちグッズ）等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字コグトレ(東洋館出版社) 宮口 幸治 著 ・ちびむすドリル (https://happyilac.net/syogaku.html) 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法]</p> <p>①安心して活動できる雰囲気を作り 活動の前に興味をもっていること（キャラクターの絵、工作）や休みの日にしたことなどその時に話したいことをしっかり聞いて受け止める。</p> <p>②学習活動の見通しの可視化 1時間の流れをパターン化し、活動の最初に予定を伝え、一つの課題が終わるとシールをはっていく。</p> <p>③集中して取り組む活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・覚える「最初とポン、最後とポン」 話を注意・集中してしっかり聞く力を付けるために、短い文章を2つ読む。それぞれの最初か最後の単語を覚える。ただし動物や色の名前が出てきたら手をたたく。 ・数える「漢字まとめ」 塊としてまとめることで数の感覚を養っていくために、漢字を5個ずつ〇で囲み、5の段の九九を使って漢字の総数を出す。 ・点つなぎ 見本を見て、同じ形になるように点をはみ出さずに丁寧に書く。 ・パズル「簡単ナンプレ」 楽しみながら物事を順序立てて考える力を育てるために、絵の4マスパズルを行う。 <p>④「分かる」「できる」を増やす活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九九の練習 タブレットを使って九九の問題を出す。苦手意識が強いので、1時間に1回、挑戦したい段を決めて取り組む。がんばりカードを使って努力を認める。 ・間違い直しなどでできていない問題を終わらせていく。 <div data-bbox="1204 784 1428 1086" style="float: right; border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p>4マスパズル (ちびむすドリル)</p> </div> <p>[児童の様子、成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ★児童が話したいことを聞いたことで、緊張した表情でやって来ていた児童が、笑顔で教室に入ってくるようになった。 ★一つ一つの課題を簡単なものから取り組み、少しずつレベルをあげたことで、集中して取り組みレベルが上がると嬉しそうにしていた。 ★授業中に終わらなかった問題をすべてやり終わることで、自信につながったようでいつも笑顔で教室を出ていくことができた。 	

小学校	聞く力を付けるための指導
<p>★対象児童生徒 中学年 自閉症</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 話を聞いておらず、ボーッとしていることが多いため、学習作業が遅れがちになる。家庭でも、近くで声をかけると話が聞けるが、距離があくと話が聞けていない。 新しい環境に適応しづらく、初見のものにチャレンジすることは難しいが、できるようになったことを素直に喜び、もっとやろうとする意欲をもつことができる。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し手の話すことを、集中して正しく聞き取る。 <p>【自立活動6コミュニケーションー(2)】</p> <p>★参考資料、有効だった教具・教材(お役立ちグッズ)等</p> <ul style="list-style-type: none"> 「聞き取りワークシート③イメージして聞こう編」(かもがわ出版) NPO フトゥーロLD 発達相談センターかながわ 編著 コグトレー覚える「最初とポン」(SBクリエイティブ) 宮口 幸治 著 「マンガ コグトレ入門」(小学館) 宮口 幸治 著 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法] ※①は毎回、②と③は隔回で実施している。</p> <p>①お話タイム…ワークシート「学校では、どんなかんじ?」</p> <p>○1日の学校生活を思い出し、自分の言動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> WSには本児の課題に合わせた10個のチェック項目を挙げている。◎、○、△、×の4段階で自己評価し、△や×になった項目については、どうすればよかったかを考える。 <p>②聞き取りトレーニング</p> <p>○クイズやロールプレイなど楽しめる課題を通して「聞く」ことに対する抵抗感を減らし、正しく聞き取る力を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 聞き取りクイズ…情報を聞いて絞り込む、日常会話で必要とされる計算問題を聞いて計算する、漢字の書き方を構成要素を聞きながら書く など 会話のやりとりの聞き取り …2～3人の会話を聞き取って、内容や会話の話題、話の流れをつかむ。 <p>③コグトレ「最初とポン」</p> <p>○人の話に注意を向けて、集中してしっかり聞く力を付ける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 出題者が2つもしくは3つの文章を読み上げる。 子どもは各文章の最初の単語だけを覚える。 文章中に動物の名前が出たら手を叩く。 出題者が読み終わったら、子どもは覚えた最初の単語を解答用紙に書く。 <p>[児童生徒の様子、成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ ②では、聞き取りクイズを楽しんでおり、喜んで取り組んでいる。近々、会話のやりとりの聞き取りに進む予定。 ★ ③では、最初は自信がなく気が進まないようだったが、まず1文から練習を始め、1回で聞き取れなかったら、聞き直すことも認め、スモールステップで進めたこともあり、徐々にコツをつかみ、自信を付けてきた。現在は、本来のやり方である2文、3文でまとめて聞き取ることができ、聞き直しも少なくなった。意欲的に取り組んでいる。 ★ ②や③で、自分の聞く力がついてきたことを実感しているためか、①で「話を聞きのがさないようによく聞く」や「じゅぎょう中、集中してべん強する」の項目に、◎や○がづくことが増えた。 	

小学校	できることを増やして自己肯定感を高め、前向きに取り組めるようにする指導
<p>★対象児童生徒 高学年 LD 傾向</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何事にもまじめに取り組むことはできるが、少し難しい課題になると安易に答えを求めてしまい、じっくり考えて自力で解決することは難しい。 ・様々な場面での行動について、どうすることが望ましいか理解することはできるが、自分に甘くなったり周りの人への配慮が欠けたりして、適切な行動をとれないことが少なくない。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦手なことにはスモールステップでチャレンジしながら、得意なことを伸ばして自己肯定感を高める。読める漢字や語彙を増やして文章の理解力を高める。 ・集団の中で、周りの状況や相手の気持ちに応じて適切に行動することができるように、自分の行動特性を理解する力、他者の意図や感情について想像する力を高める。 <p>【自立活動 3人間関係の形成一(3)(2)】</p> <p>★参考資料、有効だった教具・教材(お役立ちグッズ)等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロスワード、まちがい漢字直し、なぜ解きクイズ、「こんなときどうする?」(合同出版)、「BrainBox ピクチャーズ(10秒記憶カードゲーム)」(ドリームブロッサム) 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法]</p> <p>①漢字学習</p> <p>○間違い漢字直し…間違えている漢字を探し出して正しく直すことで、漢字を細かく分けた各部分の画の数や長短などへの意識を高める。さらに、扱った部首に関することや派生する漢字を調べることで、漢字への認識を深める。</p> <p>②語彙学習</p> <p>○クロスワード…多様な視点から説明したヒントをもとに考えをめぐらせ、指定された言葉を考え出す。派生する別の言葉も学びながら、様々な言葉を正しく認識して適切に活用できるようにする。</p> <p>③読解</p> <p>○なぜ解きクイズ…複数のヒントをつなぎ合わせることで、課題に適合した答えを導き出す。一つひとつのヒントから分かることを押さえながら、別のヒントとつないでいくことで答えを絞っていく活動を通して、プログラミング的思考も養う。</p> <p>④SST</p> <p>○こんなときどうする?…日常起こりうる様々な場面において、どう行動すればいいのかを考える。机上の選択が実効性をもたせられるようにするため、実際の自分の行動を振り返ってつづさに照らし合わせるようにする。</p> <p>[児童生徒の様子、成果]</p> <p>★ 漢字の練習をがんばっていて、細かな部分までしっかりと意識をしながら正しい漢字を書けるようになってきている。都道府県など日頃見慣れない難しい漢字でも、できるだけ漢字で書こうとする意欲が見られるようになった。</p> <p>★ 「クロスワード」に意欲的に取り組み、ヒントをもとにじっくりと考えて、適切な言葉を導き出すなど少しずつ語彙を増やしていくことができた。今後は、さらに語彙を増やして活用できるようにするとともに、複数のヒントを上手につなぎ合わせながら少し複雑な課題も解決できるような力をつけられるよう支援していきたい。</p>	

小学校	見通しを持ち、安心して学校行事に参加できるようにする指導
<p>★対象児童生徒 高学年 発達性読み書き障害</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語彙が少なく、字形が整わない。 ・課題の量や書く量が多いとイライラしてしまう。 ・学習面で自信がなく、登校渋りもある。 ・学校行事など、見通しがもてないことに不安がある。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事に見通しをもち、活動に参加することができる。 ・課題をしながら困ったときに、どうしたいかを相談することができる。 <p>【自立活動 2心理的な安定一(2)、6コミュニケーション(5)】</p> <p>★参考資料、有効だった教具・教材(お役立ちグッズ)等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SSTワークシート思春期編(かもがわ出版)、ワークシートで進める特別支援のSST中級(学研) 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法]</p> <p>①できごと日記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主語・述語、5W1Hをワークシートに書きだし確認する。 ・ワークシートを見ながら、順序よく話す。 <p>②学習等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスで行う学習等の課題を行う。 ・伝えようカードを示し、困った時には、「量を減らしてください」「ヒントをください」などを指導者に伝える練習を行う。 <p>③SST(修学旅行について)</p> <p>修学旅行への不安感があったので、修学旅行についてのSSTを3週連続で行った。</p> <p>1週目：修学旅行の日程確認、スケジュール作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つずつの活動や時間を確認しながらスケジュールを作成することで、不安を解消できるようにした。 <p>2週目：お土産の買い方、お金の使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを用いて、決められた予算の中でお土産を買うシュミレーションを行う。 <p>3週目：班行動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班で行動するとき、「自分勝手な行動をしない」、「時間を守る」「困ったら先生に相談する」など気をつけることをワークシートで確認する。 <div data-bbox="1038 949 1386 1223" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1062 1285 1386 1585" data-label="Image"> </div> <p>[児童生徒の様子、成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ★最初は困っているときに指導者がカードを示して、「どうしたい?」と聞いていたが、徐々にカードを示さなくても、自分から指導者に伝えることができるようになってきている。 ★スケジュールを作成するなかで、本人の不安感を聞くことができたので、不安なところと一緒に考えたり、説明したりすることができた。前日の通級の時間には、「緊張する」と言っていたが、当日には無事に参加することができた。楽しかった思い出を指導者や保護者に話すことができた。 	

小学校	漢字や単語、短文を読むのが苦手で、文意が理解しづらい児童への指導
-----	----------------------------------

★対象児童生徒 高学年 LD

★対象児の特徴

- ・語彙が少ない。会話や教科書に出てくる単語の意味が分からないことが多い。
- ・漢字の読み書きや言葉のまとまりを捉えて読むことが苦手。読み聞かせを好んでいる。

★目標

- ・低学年で習う漢字を書けるように、中学年で習う漢字を読めるようになる。
- ・言葉のまとまりを捉えて、スムーズに易しい読み物を音読できるようになる。

【自立活動 2心理的な安定一(3)】

★参考資料、有効だった教具・教材（お役立ちグッズ）等

- ・特別支援の漢字教材（学研）
- ・特別支援教育の理論と実践Ⅱ（金剛出版）特別支援教育士資格認定協会
- ・読み書きが苦手な子もイキイキ唱えて覚える漢字指導法（明治図書） ・漢字プリント（自作）

学習内容や指導方法、児童生徒の様子等

[学習内容と指導方法]

①漢字学習

○漢字の形・読み方・意味をつなぐために、イラストや漢字九九（フレーズ）を示したプリントを用意する。

- (1)漢字やイラストを見て、読み方や意味を知る。
- (2)漢字を見て、気付いたことを自由に話す。
- (3)漢字九九（フレーズ）を唱える。

例「詩」…「言おう、寺で『詩』を読めと」
「服」…「月夜にフしぎ、1人又いだ『服』」
「機」…「木でくムくム、一人バツ（×）テン（、）
『機』械がこわれた」

- (4)唱えながら漢字を書く。なぞる→一人で書く
- (5)漢字を使って短文を作り、生活場面とつなぐ。



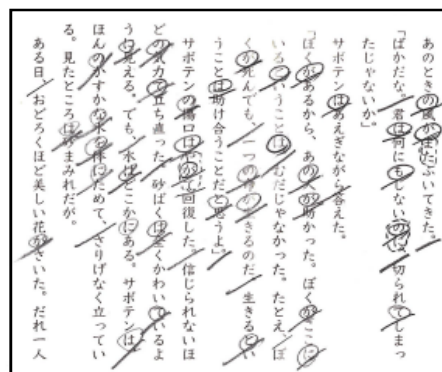
【イラスト入り漢字プリント】

②言葉のまとまりを捉えて読む。

○MIM「読みのアセスメント」の読みカードで正しい表記が選べるようになった頃から、次の活動を行う。

○興味関心のある内容や親しみやすい文章を使う。

- (1)助詞を見つけて丸を付ける。
を・に・は・が・と・より・で・から・の・へ・や
語呂合わせ「鬼は（が）戸より出、空の部屋
けれど（も）・ても・し・たり・て・ながら・ば・
のに・ので・こそ・しか・ばかり・ずつ・か・まで
- (2)助詞と句読点の後ろに／（スラッシュ）を入れる。
- (3)／から／までをまず黙読してから、音読する。



【言葉と助詞を見つけて区切る】

[児童生徒の様子、成果]

- ★ ①では、フレーズを唱えながら、自然と正しい筆順で書けた。また、フレーズに漢字の読み方を含めているので、小テストの際も想起できた。(2)の気付きや話す活動が活発になった。
- ★ ②では、だんだんすらすら読んでいると本児が実感できるようになり、つまらず読めるまで自ら繰り返し練習する姿勢が見られるようになった。

★対象児童生徒 高学年 LD

★対象児の特徴

- ・計算する、推論するなど、算数の学習全般を苦手としているが、具体物が手元があればある程度意味を理解し、意欲的に学習に取り組むことができる。
- ・当該学年の学習内容に抵抗を示すことが多い。そのため、既習事項の復習を取り入れ、本児に合った内容の学習をすると、達成感を得ることができる。

★目標

- ・分数の意味を理解し、「帯分数⇔仮分数」の換算ができる。

【自立活動 2心理的な安定- (3)】

★参考資料、有効だった教具・教材（お役立ちグッズ）等

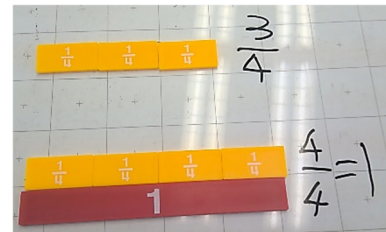
- ・色分け分数タイル（メーカー：マルゼン）以下 分数タイル

学習内容や指導方法、児童生徒の様子等

[学習内容と指導方法]

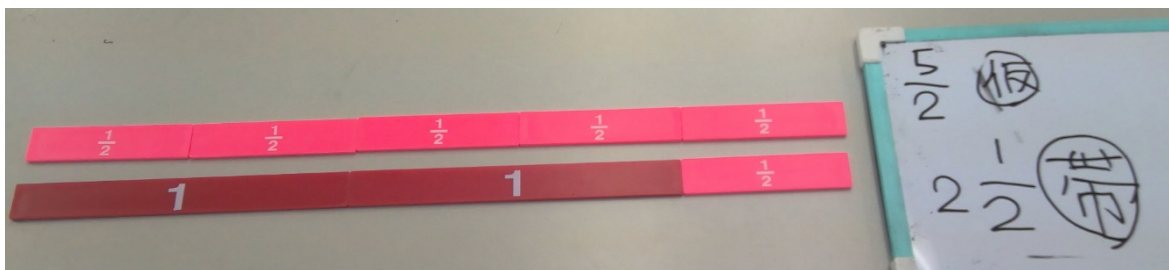
①分数の基本を視覚的に復習

- (1) 単位分数がいくつあるかで表すことを確認する。
- (2) 分母と分子の数字が等しければ、1になることを確認する。



②「仮分数⇔帯分数」の練習

- (1) 指定された仮分数（帯分数）を分数タイルで作る。
- (2) 分数タイルの横に、仮分数（帯分数）表記で書く。
- (3) 1を表すタイルを並べて置く、または1を表すタイルに置き換える。
- (4) 完成した分数タイルを見ながら、帯分数（仮分数）表記で書く。
- (5) 数値を変えて、(1)～(4)を繰り返し練習する。



[児童生徒の様子、成果]

- ★数字操作のみでは分数の意味を理解をできず、定着しなかったが、具体物（分数タイル）を用いて視覚化したことで意味を理解し、「帯分数⇔仮分数」の換算ができるようになった。
- ★ $3/2=1$ と $1/2$ 、 1 と $1/3=4/3$ など、扱う数字が小さい分数に関しては、分数タイルがなくても「帯分数⇔仮分数」の換算ができた。
- ★分数の計算に少し自信がもてるようになり、通常の授業での心理的な負担が軽減した。

小学校	日常生活の中で使うスキルを獲得するための指導
<p>★対象児童生徒 高学年 LD</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月や曜日の感覚を捉えることが難しく、当番活動や通級指導教室へ行く曜日が覚えられないが、活動自体には真面目に取り組むことができる。 ・計算全般に時間を要したり、大きい数字の呼称が苦手だったり、時計で時刻が読めなかったりと、算数が一般的に苦手であるが、指を使ったり筆算をしたりして、自分で時計を読んだり買い物をしたりしたいという目標のために、諦めずに最後まで取り組むことができる。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じてメモ帳を使い、当番活動などの決められたことを自分で行うことができる。 ・自分の苦手なことを知り、諦めずに最後までそのことに取り組むことができる。 <p>【自立活動 2心理的な安定—(3)】</p> <p>★参考資料、有効だった教具・教材（お役立ちグッズ）等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモ帳 ・時計の模型（自作） ・本物の財布、自作の紙幣、教具の硬貨 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法]</p> <p>①メモ帳を活用する練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週、当番活動や通級指導教室に行く日時を、自分でカレンダーを見ながら日付順にメモする。 ・毎日メモ帳を見る時間を、ランドセルから荷物を出す時と決めて、できるだけ忘れずに確認できていたが、該当時間までにその内容を忘れてしまうため、毎時間メモ帳を見ることにしている。 ・毎回の通級による指導の時間に、メモ帳を見たか、忘れずに行ったかの確認をする。 <p>②本時に行う内容を、授業始めに自分で選択し決定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で決めることで、見通しをもって主体的に取り組めるようにする。 <p>③時計を読む練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業始めに毎回、授業終了時刻をセットする。 ・教師が示した時計の時刻を読む。 ・教師が伝えた時刻に、時計の針を動かして合わせる。 ・何分後、何分前などの時刻を、針を動かしてセットするまたは口頭で答える。 ・自分で時計を見て行動できるようになるという本児の目標のために、日常生活の中で時計を使う場面を想定し（船の時間に合わせて家を出発する時刻を考える、校外学習で目的の場所に戻ってくるための時刻を考える等）、自分で時計を見て、考えながら行動する力を身に付ける。 <p>④買い物場面のお金の練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出された紙幣と硬貨を合わせた金額を答える。 ・示された金額ちょうどの紙幣と硬貨を出す（50円玉や5円玉も適宜使用する）。 ・財布内に入っている紙幣と硬貨で、示された金額ちょうどまたはそれより多い金額を出す。 ・予算を伝え、予算内で購入できる商品を選ぶ（複数購入の場合は暗算をする）。 <p>[児童生徒の様子、成果]</p> <p>★メモ帳を見ること自体を忘れてしまったり、見て確認できたとしても、当番や通級の時間までにそのことを忘れてしまったりしていて、声かけがなければ行動できないことが多い。しかし、自分が苦手とすることは理解しており、それを改善・克服しようとする意欲はある。中学校へ進学すると、更に自分自身で責任をもって行動すべき事柄が増えるので、小学生のうちに、自分のことは自分で管理できるようにしたい。</p> <p>★時計は、間違えて読むことが少しずつ減ってきている。お金は、出し方（例：60円は、10円玉6枚でなく、50円玉1枚と10円玉1枚でも出せる）が分かってきている。ミスがかなりなくなってきた。どちらも、継続してきた成果が現れてきていて、本児もそれが嬉しいようだが、練習しない期間ができると、やり方や使い方を忘れてしまうため、今後も継続していく必要がある。家庭でも実際に買い物に連れて行ってもらったり、時刻を意識できるような声かけをしてもらったりして、実践体験の中で成功体験が積めるよう、連携をとっていきたい。</p>	



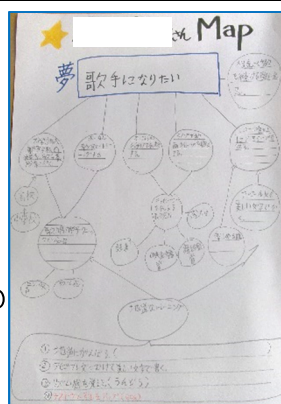
小学校	夢マップを作成して自己肯定感を高めるLD児への指導
-----	---------------------------

- ★対象児童生徒 高学年 LD
- ★対象児の特徴
 - ・計算はできるが、読み書きに苦手意識があり、学習全般に遅れが見られる。真面目に言われたことはするが、自信がなく、自分からは計画的に学習に取り組みにくい。
 - ・運動は好きだが、肥満があり、自己肯定感が低くなりがちである。
 - ・歌手になる夢があり、歌うことが好きである。
- ★目標
 - ・夢を叶えるために、目標をもって自分で計画を立て、やり遂げて自信をつける。
 【自立活動2心理的な安定—(3)】
- ★参考資料、有効だった教具・教材（お役立ちグッズ）等
 - ・タブレットで運動の動画撮影、目盛りを工夫したグラフ

学習内容や指導方法、児童生徒の様子等

【学習内容と指導方法】

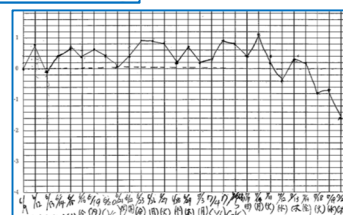
- 1 自分の夢マップを作成する。
 - ・夢を叶えるためにどうすればいいのかわかるようにタブレットを使って調べる。
 - ・歌手になるために必要な力をマップに書き出し、今できそうなこと（手札にして）を並べてみる。
- 2 になりたい自分になるために今できることの手札の中から自己選択し、自己決定する。
 - ① 痩せて健康になりたい。（カッコいい歌手に）
 - ・運動、食事の生活習慣を見直す。
 - ・運動メニューを作成し、毎日続ける。
 - ・体重を量り、記録していく。
 - ② 字を丁寧に書く。（アピール文が上手に）
 - ・折れで止まり、文字が重ならないように丁寧に書くことを意識する。
 - ・点つなぎなどの通級課題に取り組む。
- 3 「うれしいこと日記」に今の自分を残す。
 - ・がんばって努力している自分、楽しかったこと等を文章に残すことで、自己肯定感を育む。



うれしいこと日記 7月～20日

今日、体重が2kg減りました。6月1日からトレーニングし、毎日1時間以上運動しました。学校の時にも、体育がはかまなかったけれど、家に帰ってからは、毎日1時間以上運動しました。学校の時に、体育がはかまなかったけれど、家に帰ってからは、毎日1時間以上運動しました。学校の時に、体育がはかまなかったけれど、家に帰ってからは、毎日1時間以上運動しました。

2023 んのがんばり表		10
両腕体操トレーニング	0	0
片手体操トレーニング(右)	0	0
片手体操トレーニング(左)	0	0
スタフツ	70	0
くるっとボン!	30	0
ももあげ	50	0
横立て伏せ	30	0
パービー	8	0
腹筋(脚持って)	20	0
足首持つ。(ななめ)・ひざひたタッチ	0	0
横腹筋(脚上げ)	30	0
足腹筋(低く上げて)	0	0
深呼吸	0	0



【児童生徒の様子、成果】

- ★ 自分で調べて夢マップを作成したことで、何をすれば夢に近づけるのかが明らかになり、当たり前で自分がしている学習も夢につながっていると意識できるようになった。
(例えば、アピール文を書くには、美しい文字の方が有利だから、日頃から丁寧に書く等。)
- ★ 体重は家庭の協力もなければ簡単に減らないが、数値で表れるため分かりやすく、昨日食べた食事内容とつないで考えられるようになった。減った日は、余り表情の出ない児童がよい笑顔を見せ、「うれしいこと日記」に書いていた。
- ★ ほぼ毎日続けられたことは、本人の自信になり、家族の協力も得られ始めたが、長期休業中は課題である。

小学校	問題解決のスキルの習得を図るための指導									
<p>★対象児童生徒 高学年 LD・ADHD・自閉症</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通級指導教室では、意欲的に活動し、自分の思いを率直に表現することができる。 ・友達と関わることは好きだが、うまくコミュニケーションが図れなかったり、人間関係が築きにくかったりすることがある。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題場面の状況を正しく捉え、場に応じた適切な行動をとろうとすることができる。 <p>【自立活動 3人間関係の形成ー(2)、6コミュニケーションー(5)】</p> <p>★参考資料、有効だった教具・教材（お役立ちグッズ）等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ソーシャルスキル教育で子どもが変わる」（図書文化社）国分 康孝 監修 										
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等										
<p>[学習内容と指導方法]</p> <p>①問題場面の選定 学校生活や日常生活の中から対象児童が困っていることを事前にアンケートを取り、本児や保護者、学級担任から話題提供してもらう。</p> <p>②問題解決のステップ 「1 問題を理解する。2 解決方法をたくさん考える。3 それぞれの結果を予測する。4 一番よい解決方法を選ぶ。5 練習してみる。」という手順で考える。</p> <p>③問題場面の状況把握のための手立て 問題場面をT1とT2で演じて見せ、気付いたことを話し合わせる。教師がやって見せることで、言語表現だけでは分かりにくい自分や相手の表情やしぐさなどから相手の気持ちや思いに気付かせ、状況をつかみやすくする。</p> <p>④般化につなぐためのリハーサル 教師を相手にロールプレイをやってみる。頭の中で理解できても、実際の行動につながらないので、練習を行う。そして、日常場面でスキルを使うように促していく。</p> <p>⑤振り返り ロールプレイの様子を撮影した動画を視聴し、自分の姿を視覚的に振り返る。</p>										
<p>[児童生徒の様子、成果]</p>										
<p>SSTT 相手が どうして おこなっているのか分からないとき、 どうしたら よいかを 考えよう。</p> <p>状況 わたし Aさん 理由が おみん。 わからない。</p> <p>解決方法</p> <table border="1"> <tr> <td>ほっとく。 無視する。</td> <td>おこらないでと 言う。</td> <td>どうしておこなっている のか <u>聞く</u>。 言い方</td> </tr> <tr> <td>↓</td> <td>↓</td> <td>↓</td> </tr> <tr> <td>結果 相手は おこなったまま。</td> <td>けんかになる。</td> <td>おたがいの思っ ていることが分かる。</td> </tr> </table> <p>ふりかえり 一番 うまくいく 言い方 「わたし、どうしてあなたが おこなっているのか 分からないの。わたしが よくないことを したのなら、直すので、おこなっているわけを 教えて。」 結果を予測して よりよい方法を考えていく。</p>		ほっとく。 無視する。	おこらないでと 言う。	どうしておこなっている のか <u>聞く</u> 。 言い方	↓	↓	↓	結果 相手は おこなったまま。	けんかになる。	おたがいの思っ ていることが分かる。
ほっとく。 無視する。	おこらないでと 言う。	どうしておこなっている のか <u>聞く</u> 。 言い方								
↓	↓	↓								
結果 相手は おこなったまま。	けんかになる。	おたがいの思っ ていることが分かる。								
<p>★ 解決方法を一つの考えにこだわらず、いろいろ考えるようになった。そして、それぞれの結果を予測し、友達の考えも参考にして、自分にとっても相手にとってもよりよい解決策を選択できるようになった。</p> <p>★ 本実践を重ねるにつれ、児童の方から困ったことを問題場面として取り上げてほしい、みんな考えてほしいという声が聞かれるようになった。仲間意識が育ってきている。</p>										

小学校	対処の仕方が分からないとじっとして動けなくなる児童のための指導
<p>★対象児童生徒 高学年</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院で、発達障害についてグレーゾーンにあたると言われた。 ・明るく素直な性格ではあるが、対処の仕方をすぐに決めかねる状況に置かれると、じっとして、しばらくの間話したり動いたりすることができなくなる。通級教室では、これまでに2回その様子が見られた。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の特性と向き合い、苦手なことに対してもチャレンジしていく中で、動けなくなる状態から脱するきっかけをつかむ。 <p>【自立活動3人間関係の形成一(3)】</p> <p>★参考資料、有効だった教具・教材(お役立ちグッズ)等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・U-SST ソーシャルスキルワーク(日本標準) ・作文ワークシート(自作) 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法]</p> <p>1 ソーシャルスキルワークによる学習</p> <p>答えることが難しい内容のSSTシートに取り組んだ際に、動けなくなりそうになったことがあった。児童の顔が見る見る曇っていったが、教師の顔の表情も教育環境の一つであると考えて笑顔で見守ったところ、「ひらめいた。」と言って落ち着きを取り戻し、答えることができた。これをチャンスととらえ、参観に来ている母親の前ではあったが、本人に初めて「動けなくなってしまいそうだったけど、何とか帰ってこられたね。どんな気持ちでしたか。」と尋ねてみると、「何かいけると思った。」と答えた。</p> <p>2 作文学習</p> <p>7月に、誕生日に家族がお祝いしてくれた内容を本人が話している時に、「では、その時のことを作文に書いてくれますか。」と言うとじっとして動けなくなってしまった。これが通級教室での初めての出来事であった。</p> <p>2学期になり、授業中の発表回数も増え、委員会活動での積極性も増して順調に学校生活を送ることができてはいるが、学級内でまだ時々動けなくなることがあると担任から聞いていた。そこで、通級指導教室では、児童の主たる自立課題である動けなくなる状態からの脱出の手がかりをつかむために、敢えて苦手な作文課題に取り組むこととした。第1時である本時には、走り幅跳びで6位入賞を果たした三観地区陸上記録会を題材とし、構成材料となることから導入の話の中で口頭で聞き出し、いくつかを板書メモとして記しておいたことで、児童の抵抗感を軽減させた。その結果、動けなくなることなくワークシート4行分の文章を書くことができた。振り返りの際、「今日は先生にたくさん教えてもらったので、今度、宿泊学習の作文を書く時には、自分一人の力で作文を書きたい。」と前向きな発言を引き出すことができた。</p> <p>[児童生徒の様子、成果]</p> <p>★普段から姉や妹などの家族の話もする中で、通級指導教室においてはありのままの自分でいいんだという安心感をもたせることにより、動けなくなりかけている自分を恥ずかしいと感じることなく、素直に向き合っていくようとする意識をもたせることができたのではないかと考える。</p> <p>★これまでは、動けなくなってしまうことについて言及することはタブーという感があったが、自分の実態や特性を受け入れる心のキャパシティが広がったため、児童がより楽になれる指導を展開していけるものと期待している。</p>	

小学校	自分に合った学び方で学習活動に参加するための指導
<p>★対象児童生徒 高学年 広汎性発達障害 ADHD LD</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文字を書くことが苦手。ひらがなを1文字思い出して書くのに、3～5秒かかる。カタカナはさらに時間がかかる。 ・ 写し書きも不可能ではないが、板書をノートに写す意欲は見られない。 ・ マイペースで「書く」以外の行動も全てゆっくり。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パソコンを使って、授業中に必要な文字を書くことができる。 <p>【自立活動6コミュニケーションー(4)】</p> <p>★参考資料、有効だった教具・教材(お役立ちグッズ)等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タブレット端末 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法]</p> <p>① ひらがな・カタカナ練習</p> <p>○ひらがな、カタカナを書く機会を作る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クロスワード…4文字程度の語の説明文を読み、答えをひらがなやカタカナで書く。 <p>② パソコンでの入力練習</p> <p>○フリック入力機能を使い、文字を入力する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SKYMENUの発表ノート機能を使用し、板書の写し書きをする。「書く内容を考える」と「書く」ことを同時にするのは難易度が高い。フリック入力に慣れて、入力速度が上がるまでは、その2つはそれぞれ分けて行っている。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 教科書を読み、考えたことを「話す」ことで表現する。 (2) 教師が児童の考えを板書する。 (3) 板書を見て、発表ノートに入力する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 10～20文字程度板書し、入力する。入力し終わったらまた板書する。というように文量を調節することで、「最後まで書き切れた！」と達成感を味わえるようにしている。 <p>[児童生徒の様子、成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 鉛筆で書く、キーボードでローマ字入力する、などの方法では書く意欲が上がらなかったが、フリック入力には興味を示して書こうという姿勢が見られた。 ★ 初めは時間内に入力できる文字数が10文字程度であった。2～3ヶ月経つと30～40文字程度を入力することができた。6ヶ月経つと60文字程度を入力でき、どんどん速度が上がっている。 ★ フリック入力の練習を始めて6ヶ月経った頃。通常学級での国語の授業中にパソコンでノートを取る姿が見られた。板書された友だちの意見の中から1つを選び、発表ノートに入力した。 	

小学校	自分の認知や書字の特性に気づき、他者が読み取れる文字を書くための指導
<p>★対象児童生徒 高学年 ADHD</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 空間認知については、点対称の図形について、念頭操作で対応する点を見つけることはできるが、直線を2等分したり、ます目の中心線を引いたりする活動では大きくずれることがある。 書字については、ます目の中に入るように書くことができるようになっているが、字形が整いにくい。気持ちが落ち着いているときは一画一画きちんと書けるが、気分によっては、自分でも読めないような文字になることがある。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の認知や書字の特性に気づき、他者が読み取れる文字を書くことができる。 <p>【自立活動 2－（3）】（内容としては、4－（5）や5－（3）を取り扱う）</p> <p>★参考資料、有効だった教具・教材（お役立ちグッズ）等</p> <ul style="list-style-type: none"> パソコンの図形描画機能とタッチパネル式のモニター 携帯情報端末のスクリブル機能（手書き文字を活字に変換）と携帯情報端末用の入力ペン 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>【学習内容と指導方法】</p> <p>①教材の選択場面の設定</p> <p>通級指導担当や保護者が対象児に身に付けてもらいたい力「手指の巧緻性」「空間認知力」「コミュニケーション力」に対応する教材や活動から、今学期、本人が通級指導教室で頑張ることを選択する場面を設定した。</p> <p>②空間認知トレーニング</p> <p>文字の中心がずれていても、自分だけでそのずれを見つけ直すことは難しい。そこで、パソコンの図形描画機能を用いて、自分の手で描画機能を使わず描いた図がどの程度正確か調べるトレーニングを取り入れた。</p> <p>③書字トレーニング</p> <p>速く書いた文字は、他者からどう認識されるか気付く手がかりとして、携帯情報端末の手書きの文字を活字に変換するスクリブル機能を利用した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="204 1601 510 1635"> <p>【児童生徒の様子、成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ いろいろな教材を準備しておき、その中から、対象児自身が選ぶようにすることで、自分から何度もチャレンジする様子が見られた。 ★ 対象児が得意なデジタル機器を使うことで、意欲的に取り組む様子が見られた。 ★ 授業の展開においては、教師が児童の反応を待ったり、「どうする？」と児童の自発を促すような働きかけをしたりすることで、児童が自分から学びに向かう様子が見られた。 ★ 正しく認識されない文字について、スクリブル機能は筆順も関係しているらしいと、児童自らが考え、正しい筆順で書き直す場面が多くなった。 </div> <div data-bbox="1050 1032 1369 1335"> </div> </div> <p style="text-align: center;">【空間認知トレーニングの評価ポイント】</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;"> <div data-bbox="911 1384 1377 1637"> </div> <div data-bbox="1002 1637 1273 1671"> <p>【書字トレーニング】</p> </div> </div>	

- ★対象児童生徒 高学年 自閉症スペクトラム・ADHD
- ★対象児の特徴
 - ・教科の理解能力は高い。
 - ・他の児童の些細な言動が許せず、きつい言葉で非難するために、常にトラブルになってしまう。
- ★目標
 - ・友だちに怒りそうになる前に「ま、いっか。」と言うことができる。
- 【自立活動 3人間関係の形成一(3)】
- ★参考資料、有効だった教具・教材(お役立ちグッズ)等
 - ・自作SST短冊「ぐちゃ悪口を言うと」

学習内容や指導方法、児童生徒の様子等

①

〇〇くわ
ミスしてしまいました...

ぐちゃ悪口を
言うと……

- ・試合に負けてぐちをたくさん言っていますね。
- ・今日は、こんなぐちゃ悪口を言うとどくなぞを考えてみましょう

③

海馬 (このくわは、記憶を司る部分です)
コルチゾール (ストレスを感じると分泌されるホルモン)
ストレスを感じるとコルチゾールは分泌され、海馬が小さくなります。

- ・ストレスから体を守るためにコルチゾールというホルモンが出ます。
- ・コルチゾールは出すぎると、脳の海馬を小さくします。
- ・海馬が小さくなると、物が覚えにくくなります。

②

ぐちゃー
あの子はいいね
ぐちゃー
ぐちゃー
ドーパミン (楽しいとき分泌される)
コルチゾール (ストレスを感じると分泌される)

- ・ぐちゃ悪口は言い出せば楽しくなります。やめるホルモンが出てやめられませんか。
- ・しかし脳は主語が分かりません。だから、自分で言っておきながら、言われているように感じます。
- ・するとストレスがたまります。

④

ぐちゃ悪口を言ったらどうなるか

1. 一回だけ言う (何回も言くと、脳にこぼりつく)
2. いい言い方 に変える

〇〇のことを言われたとき、
平気だよ

〇〇なことがあったら、
大丈夫だよ

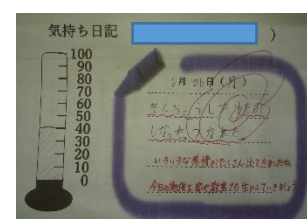
いっま、いっか！
人のことには

【児童生徒の様子、成果】

- ★自分で、自分の言葉を、児童が意識するようになった。
- ★通級の児童だけでなく、クラス全体でSSTをすることにより、クラス全体で、言葉に気づけようとするようになった。

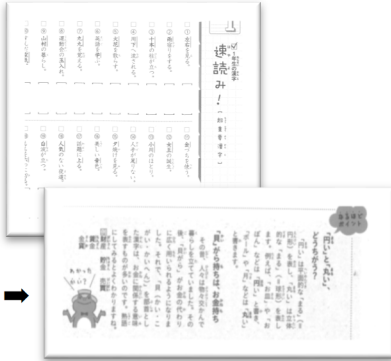
- ・自分の大切な脳を守るために、ぐちゃは一回言っただけでいい、いい言い方にするようにしよう。
- ・そして何回も「ま、いっか。」と言って(っ)りして脳を大切にしましょうね。

小学校	不安を解消し、気持ちの切りかえをするための指導
<p>★対象児童生徒 高学年 自閉スペクトラム症</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 感情のコントロールができず、些細なことでも怒ったり、何もしなくなったり、移動の時に動かなくなることがある。 不安が強く、自分の思うようにならないと、気持ちが落ち込んでしまう。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 情緒を安定させ社会生活に適応できる行動規範を身に付ける。 気持ちの切り替えをするために、自分の中にある感情について理解できる。 自分の中にある感情をコントロールする方法を考え、実行できる。 <p>【自立活動4心理的な安定(1) 6コミュニケーション(5)】</p> <p>★参考資料、有効だった教具・教材（お役立ちグッズ）等</p> <ul style="list-style-type: none"> 表情マグネット SST カード H.S.C.（包括的スクールカウンセリング研究会：代表 本田恵子） 制作・販売（株式会社クリエーションアカデミー） 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法]</p> <p>○集中トレーニングを行い、見たり聞いたりする力を鍛える。</p> <ul style="list-style-type: none"> よく見るトレーニング 絵の中から、指定された絵を見つけていく。かかった時間を競うのではなく、集中することが大切であることを確認しながら、集中して取り組むことができている。 よく聞くトレーニング 問題文を聞き、その内容についての質問に答える。聞き漏らしがあった時には、「もう一度言って下さい。」と問い直しができるようになってきている。 <p>○感情のメカニズムを知り、コントロール方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 感情のコントロールする方法を、表情カードを用いながら、起こる状況についてまとめる。 不安の性質を知り、人によって、量や、度合い、感じ方が違うことを理解する。 不安のコントロール方法を考え、「気持ち日記」を書くことで、気持ちの切り替えるきっかけにする。 <p>[児童生徒の様子、成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 感情のコントロールのしかたや場面を考えることで、どういうときに起こるのか確認することができた。 ★ 人によって、量や、度合い、感じ方が違うことをコップに水を入れることで、目に見える形で理解でき、誰にでも不安の感情があることが分かった。 ★ 「気持ち日記」では、今の気持ちを簡単な言葉で振り返ることで、次の行動に生かそうとすることができた。 ★ 自分の中の不安な感情が出てくることがあるが、それを人に話したり、「気持ち日記」を書いたりすることで、表出させ、前向きにコントロールしようとしている。 	

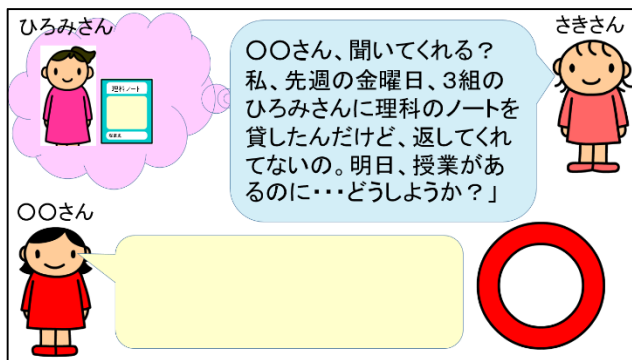
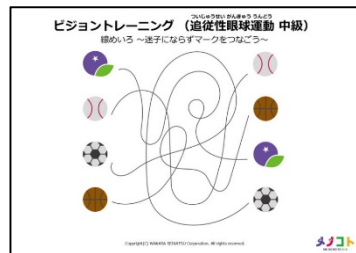


中学校、高等学校：学習面・生活面・
心理的な安定に関する課題への指導

中学校	読解力を高める指導
<p>★対象児童生徒 LD 傾向</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に自分の意思表示をするタイプではないが、教師と一対一で会話すると自分の思いや考えを表現することができる。 黒板に書かれたことをノートに写したり、漢字を書いたりする作業的なことは、丁寧な字で集中して取り組むことができる。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 語彙を増やすとともに、音読を通して読解力をつける。 授業やテストでの問題文の意味をはっきりと理解することができる。 <p>【自立活動6コミュニケーションー(3)】</p> <p>★参考資料、有効だった教具・教材(お役立ちグッズ)等</p> <ul style="list-style-type: none"> 「単元別 漢字の学習2」明治図書 「新・基礎の学習 国語2年」新学社 「光村の文法練習ノート2」光村教育図書 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法]</p> <p>①漢字学習</p> <p>○ワークの問題や授業で使用しているプリントを解く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 主に熟語を行っており、覚える際は、漢字の意味を理解しながら行っている。 プリント学習は熟語を覚えた後に、問題を解いている。 <p>②読解力</p> <p>○授業の内容を一対一で本人のペースに合わせて行っている。その中で、説明文や物語を音読している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 音読する際は、指でおさえながらスムーズに読めるように工夫している。 漢字の横に読み仮名はふっているが、ふらなくても読める漢字が増えてきている。 詩の内容のときは、その詩にあったイラストや写真等を活用し、情景をイメージしやすくした。 <p>[児童生徒の様子、成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ★授業に意欲的に取り組んでいる。 ★詰まったり、読み間違えたりすることもあるが、音読を繰り返し行うことで、徐々にスムーズに読めるようになっている。 ★問題を解いている際に、粘り強く取り組む姿勢があり、覚えている漢字や熟語の種類も増えている。 ★行事の振り返りや感想など、自分が経験したことについては書けるが、読書感想文など登場人物の心情を考えたり、経験していないことを想像することは苦手だと認識している。今後は、物語の登場人物の心情等を想像して考える活動も行っていきたい。 ★文章の説明をしたときや、イラストや写真を用いたときは、納得した表情を見せ、理解を示した。引き続き、視覚的支援を取り入れた指導を行う。 	

中学校	小学校漢字復習および理解度向上のための指導
<p>★対象児童生徒 LD</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字を覚える、書くことが苦手である。文字や文章を読むことは苦としていないため、普通の学習活動について教科書読み順番が回ってきた時などは無難にやり過ごしている。 分からない漢字、読めない漢字が出てくると、表情や発声が固まってしまうことがある。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 興味のある新聞記事から、知らなかった漢字、読めなかった漢字を書き取りして、反復練習を行うことができる。 新聞記事を音読することで、活字に慣れ、たくさんのトピックスに触れ興味・関心の幅を広げることができる。 <p>【自立活動6コミュニケーションー（3）】</p> <p>★参考資料、有効だった教具・教材等</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎日新聞社子ども新聞 学研「小学6年分の漢字をたった7日で総復習」（改訂版） 	
学習内容や指導方法、生徒の様子や成果等	
<p>【学習内容と指導方法】</p> <p>① 新聞記事の音読</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども新聞の中から、興味のある記事やコラムを選択し、文章を声に出して読む。 文章中の漢字にはルビがふられているので、可能な限り詰まらずに読むようにする。その中で、読み方や意味を知らなかった漢字を漢字練習ノートに書き出し、5回以上書き込む。 <p>② 漢字練習</p> <p>○小学6年分の漢字をたった7日で総復習（改訂版）【学研】 →</p> <p>制限時間を設けて、読み書きチャレンジテストを行う。</p> <p>間違えた漢字を漢字練習ノートに5回以上書く。</p> <p>「漢字パズル」や「読み物」で、学んだ漢字を気軽に確かめる。 →</p> <div style="text-align: right;">  </div> <p>[生徒の様子、成果]</p> <p>★自分が興味・関心をもっている新聞記事を音読することで、スムーズに漢字学習に入っていく様子が見られた。</p> <p>★漢字練習には少し抵抗を示したが、「1年生からの漢字」や「今日は読みだけ」「今日は半ページだけ」など、スモールステップで取り組ませることにより、自分から時間制限を設けてチャレンジテストに向かい、時間いっぱい集中して行おうとする姿勢が現れてきた。</p>	

中学校	自分の思いや考えを適切に伝える指導
<p>★対象児童生徒 LD</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習をはじめ活動に対する態度が前向きで、真剣に取り組むことができる。 ・正義感が強く周りの生徒に注意をするなど、はっきりと物事を言うことができる。相手の気持ちや意図を理解することや、喜怒哀楽などの感情を込めて会話することは苦手である。相手の意図や反応が十分に理解できず、落ち着きがなくなる場合がある。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面に応じて、自分の思いや考えを相手に適切に伝えることができる。 ・相手の言葉や表情などから相手の意図や感情を理解し、場に応じた適切な言動をとることができるようなスキルを身に付ける。 <p>【自立活動 6コミュニケーション (5)、3人間関係 (2)】</p> <p>★参考資料、有効だった教具・教材 (お役立ちグッズ) 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メノコト365 (ビジョントレーニング) ・LITALICO 発達ナビ ・ソーシャルスキルトレーニング (SST) 実践教材集 (ナツメ社) 上野 一彦 監修 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法]</p> <p>①ビジョントレーニング</p> <p>○「見る力」を高める取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・跳躍性眼球運動、追従性眼球運動等の眼球運動のトレーニングを繰り返し行うことで、「文字の読み飛ばし」、「見ている位置から他の場所へ視線を移動させる機能が弱い」といった状態の改善が期待できる。 <p>②適切な会話</p> <p>○適切なコミュニケーションスキルを身に付ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の表情と感情を結び付けて考える。 ・会話するときの自分の表情を考える。 ・相手に応じた会話の内容を考える。 ・場面に応じた会話の仕方を考える。 ・ロールプレイを繰り返すことで、スムーズに会話ができるようにする。 <p>※自作のスライド教材「こんなときどうする？」を用意して学習を進める。</p> <p>[児童生徒の様子、成果]</p> <p>★ 「こんなときどうする？」の学習を繰り返すことで、周りの生徒と会話をする場合、自分の思いや考えを柔らかい言葉にして、相手に適切に伝えることができる場面が見られるようになってきている。学習開始当初は手掛かりとして、会話の文例を多く用意したり、いろいろな表情の写真を提示したりしながら学習をしていたが、会話文を自分で考えられることが増えてきて、徐々に文例などは減らしている。実際の生活場面で生かすことができるように、学校生活で想定されるいろいろな場面設定を工夫している。</p>	



中学校	英単語の読み指導
-----	----------

- ★対象児童生徒 LD、ADHD
- ★対象児の特徴
 - ・ WISC-IVの結果によると、ワーキングメモリに弱さがあり、知識が定着しにくい。
 - ・ 集中力が続きにくい。
- ★目標 英語が読めるようになることで、自信をもって教室で一斉授業を受けることができる。
- 【自立活動 2 心理的な安定 (3)】
- ★参考資料、有効だった教具・教材 (お役立ちグッズ) 等
 - ・ はじめてのジョリーフォニックス (東京書籍) 山下 桂世子 訳著
 - ・ アルファベットカード グループ活動用 (ヒシエス)
 - ・ ワークシート (自作)



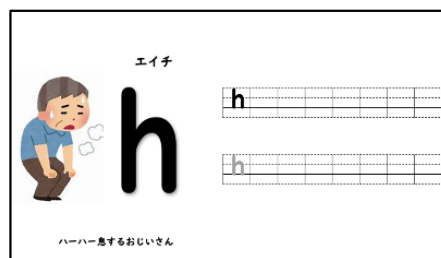
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等

[学習内容と指導方法]

≪文字の形を定着させる指導≫

形を定着させるために、「何回も書く」だけではなく、視覚や触覚、運動感覚など多感覚から文字の形をとらえ、定着を目指しています。本人に合った学習方略を一緒に見つけていきます。

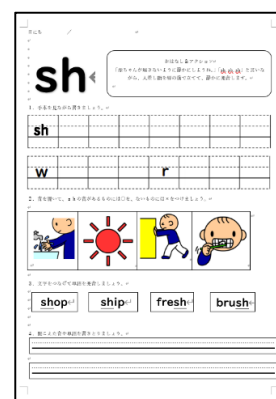
- ・ 体を使って (グッドサインやTT兄弟)
- ・ 工作用モールで形をつくる
- ・ 紙やすりの上のプリントに書く
- ・ すなの上に文字を書く
- ・ 小文字に意味付けをしたプリント
- ・ だじゃれなどを一緒に考える



≪文字の読み方指導≫

フォニックス (文字の読みルールを覚え、それをもとに単語を読む学習方法) が有効だと言われています。なかでも、文字にストーリーや動作、絵を加えることで多感覚で記憶にとどめることをめざし、文字の読みルールを覚えた上でブレンディング (音をつなげる) を行うジョリーフォニックスを取り入れています。

- ・ 自作のプリントで文字の形と読みのルールをおさえた上で、単語を聞く→読む→書くを練習
- ・ カードを並び替えて文字と文字をつなげて読む練習
- ・ カードの一部の文字を入れ替えて読む練習
- ・ 母音と子音を組み合わせる練習

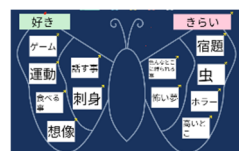


[児童生徒の様子、成果]

- ★ カードで子音と母音の組み合わせながら発音練習することは、ワーキングメモリに弱さがある生徒でも、読めるという自信につながりやすかった。
- ★ 3文字程度の短い英単語は読めるようになってきたが、定着するには繰り返し行うことが必要である。
- ★ 授業でも少しずつノートをまとめるなど、前向きな様子が見られるようになってきた。

中学校	自分の感情と上手く付き合えない生徒への指導
<p>★対象生徒 ADHD 傾向</p> <p>★対象生徒の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 自身の感情をコントロールすることが苦手で、イライラすると物にあたりたりマイナス発言をしてしまったりすることがある。クールダウンすると落ち着いて話をするができる。 聞き漏らしがあり、全体での指示の理解が難しいときがある。苦手な学習では集中力が持続しない。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 感情に振り回されずに、自分の気持ちを言葉にして伝えることができる。 計算過程を可視化し、見ながら計算を行うことができる。 <p>【自立活動 2 心理的な安定一（2）】</p> <p>★参考資料、有効だった教具・教材（お役立ちグッズ）等</p> <ul style="list-style-type: none"> 自立心を育む！生徒が変わる中学生のソーシャルスキル指導法（ナツメ社） 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法]</p> <p>① 一週間の振り返り</p> <p>最近あったこと、うれしかったこと、困ったことなどを話す。学年や学級、学校生活全般であったことや友達の様子、本人の気持ちなどについて話すようにした。不満に思っていることが多くあり、自分の感情を上手に表現できずに適切なコミュニケーションが取れなかったことを話してくれた。学級担任からもトラブルが多いことを聞いていたので、人にはさまざまな感情があり、自分なりの表現の仕方を探してみようという提案した。</p> <p>② 集中力を高める</p> <p>ビジョントレーニング(国語教室)、クロスワード、計算練習(ちびむすドリル)等</p> <p>③ ソーシャルスキルトレーニング</p> <p>ワークシートを使って、自分の気持ちの変化や複雑さに気づきそれを受け止めるトレーニングを「自分の気持ちを深く知るスキル」「怒りに振り回されないスキル」「気持ちを言葉にして伝えるスキル」と3段階に分けて実施した。</p> <p>④ お楽しみ</p> <p>新聞紙を丸めたボールを小さいおもちゃのバスケットゴールにシュートするゲームで楽しんでいる。この教室に来ることを楽しみにできるレクリエーションの一つだが、しんどい時など自分を解放し、リラックスして気持ちを切りかえるのに役立っている。</p> <p>[生徒の様子、成果]</p> <p>★ SST を通して、「友達が困っていたら習ったことをいかして寄り添ってあげたい」や、アンガーマネジメントの方法が色々あることに「そんな技を早く知りたかった」と充実した時間を過ごせている。</p> <p>★ 学級での様子としては、イライラしているクラスメートに肩をたたきながら「まあまあ落ち着けよ」と声掛けができるほどの成長があり、表情も柔らかくなってきたと学級担任から報告を受けた。まだ課題が残っているので、自分で考え、判断し、適切な行動ができる力を身に付けられるように時間を十分確保していきたい。</p>	

中学校	自分にできることや得意なことを考えることで自己理解を深める指導
<p>★対象児童生徒 ADHD</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・字形が整わず、漢字が正しく覚えられない。持ち物の整理が苦手である。 ・注意散漫になることがある。話を聞こうと努力しているが、活動に時間がかかる。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の得意なことや不得意なこと、自分の性格や行動の特徴などを理解し、自分のことを自分で説明することができる。 <p>【自立活動3人間関係の形成ー(3)】</p> <p>★参考資料、有効だった教具・教材（お役立ちグッズ）等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業支援クラウド「ロイロノート・スクール」シンキング・ツール ・「ストレングスカード・キッズ」 有) キャリア開発研究所 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分について語る。 自分の好きなことや得意なこと、一週間の学校や家庭生活における出来事等について、教師からの問いかけに答えることができる。(5W1Hに留意させながら) 2. 語彙を増やす。 <ul style="list-style-type: none"> ・『イッキに読める名作編』（講談社 齋藤孝）の音読を通して、言葉や物語への親しみを持ちたり、大切なメッセージを読み取ったりする。 ・国語のワーク『漢字の学習』を用いて、音読みと訓読みの両方を押さえながら練習する。 3. 英語科の学習をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・カルタゲームを繰り返し行うことにより、一般動詞（発音と文字）を覚える。 ・ハロウィーンやクリスマスの時期には、関連の動画や曲を視聴し異文化に興味をもつ。 ・ワーク『中英基礎と完成』を用いて単語や基本文型の練習をし、週末課題の提出にもつなげる。 4. 自分について知り、自分のことを説明する。 <ul style="list-style-type: none"> ・絵本『ぼくのニセモノをつくるには』（ブロンズ新社 ヨシタケ シンスケ）の読み聞かせを聞き、自分から見た「自分」について考える。 ・自分の好みや性格、得意なこと・できること、苦手なこと・できないこと、困難さなどを整理し、自己理解を深める。 ・できることは自分の強みになることや、自分のことを自分で説明できる力を身に付けることは大切だと知る。 5. 週末課題の量を調整し、提出する。 <ul style="list-style-type: none"> ・どれか1教科でも提出できるよう、家庭での一人勉強の手立てを教師とともに考える。 (「宿題のページに付箋を貼る」「提出した課題に達成シールを貼る」等) <p>[児童生徒の様子、成果]</p> <p>★通級での活動に落ち着いて取り組めており、教師の問いかけに簡単ではあるが応えることができ、音読やカルタの活動に前向きに取り組んでいる。</p> <p>★自分のできることや得意なことを知り、「得意なことが意外にあって、自分を改めて知ることができた。」「こんなことができるんだ。」と自己理解を深めることができた。</p>	



中学校	日常生活に必要な語彙や知識を身に付けるための指導
-----	--------------------------

- ★対象児童生徒 ADHD
- ★対象児の特徴
 - ・漢字はほぼ読めない書けない。字の形が整わない。低学年の漢字が読める程度。会話を聞き間違えたり、捉え違いをしたりする。
 - ・静かに座っていることが苦手。
 - ・プラモデルやジオボードを作るのが得意。
- ★目標
 - ・語彙を増やす。
 - ・イラストや写真をヒントに、ことわざや日本の祝日などについて知る。
- 【自立活動6コミュニケーションー（4）】
- ★参考資料、有効だった教具・教材（お役立ちグッズ）等
 - ・ことわざカルタ


学習内容や指導方法、児童生徒の様子等

[学習内容と指導方法]

① 連想ゲーム

- ・知らない言葉の意味を確認する。
- ・説明するために適切な言葉について考える。
- ・ヒントは耳から聞こえる説明文と、PCに映された文字の両方から提示する。
- ・言葉の意味を確認しながらすすめる。
- ・ヒント文を音だけでなくPCに映したことで、分からない単語の意味を確認しやすい。

お題 1



- ① 私はアメリカを代表する国民食です
- ② 私は戦後の米軍基地近くの飲食店で作られ評判になりました。
- ③ 私はサンドイッチに似ています。

② 日本の祝日


- ・祝日の名前のカードを、由来、日付を記入した表にあてはめる。
- ・自分の休日を作成する。



 元旦（がんとつ） 1月1日	 成人の日（せいじんのひ） 1月の第2月曜日 1月15日	 こどもの日 5月5日	 天ぷらの日（てんぷらのひ） 2月21日	 チューリップの日（チューリップのひ） 3月20日
この日にあそびは行った お正月の準備が済んで お正月の挨拶	大人になったお祝い お正月の準備が済んで お正月の挨拶	お正月の準備が済んで お正月の挨拶	日本のお祭りである天ぷら の日を祝う日。	花が美しく、後の成長を 促す日。
「あけましておめでとう」 と挨拶すること が、この日は「あけ ましておめでとう」が お正月の挨拶である こと、天幕前、親戚 などで大団円（だいだん げん）を祝う日です。 あけましておめでとう と、お祝いしましょう。	多くの地域では親戚人が集れ る日、この日は「あけ ましておめでとう」が お正月の挨拶である こと、天幕前、親戚 などで大団円（だいだん げん）を祝う日です。 あけましておめでとう と、お祝いしましょう。	古代天皇と母神天照が 降臨した日と書かれてい ます。天幕前（あまの まへ）に大団円（だいだん げん）を祝う日です。 あけましておめでとう と、お祝いしましょう。	この日、東京ではいろいろな お祭りや行事があります。前 述の通り、天幕前（あまの まへ）に大団円（だいだん げん）を祝う日です。 あけましておめでとう と、お祝いしましょう。	チューリップは、温かい土に 植えられる日です。前 述の通り、天幕前（あまの まへ）に大団円（だいだん げん）を祝う日です。 あけましておめでとう と、お祝いしましょう。

③ ことわざカルタ

- ・イラストから、ことわざの意味を考える。
- ・ことわざを使った会話文を参考にして、自分でオリジナルのことわざ4コマ会話を考える。



足下から鳥が立つ

意味
（鳥は人が立つても逃げようとはせず、不意に飛びか
て人を驚かすこと）

不意に飛んできて、びっくりした。驚いたように物
事を開始する様子。

会話
「えっ、来週引越すって、いいんだね」
「なにしろ一日も早く来てほしいってせかされてる」
「足下から鳥が立つような確たさださ」
「大団円です」

[児童生徒の様子、成果]

- ★祝日ゲームでは、祝日の由来を知ったことで季節についてや自然について興味をむけることができた。
- ★言葉の意味を確認するようになった。また、文字に触れることがなかったが、少しだが自分から文を書いたり、漢字を書こうとしたりするようになった。



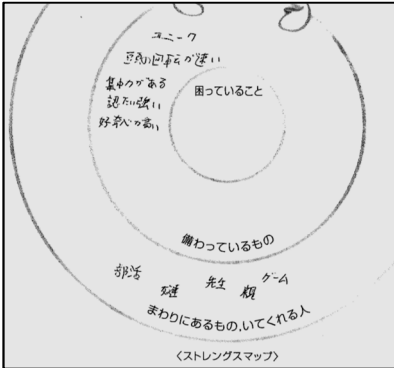
中学校	他者へ伝えたいことをわかりやすく話すための指導
<p>★対象生徒 広汎性発達障害、ADHD</p> <p>★対象生徒の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力は高いが、言いたいことがすぐにまとまらずに固まってしまうことがある。 ・学年が上がるにつれ、話し合い活動への参加が前向きになっている。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰かに何かを説明するとき、内容を整理して相手に確認しながら話すことができる。 <p>【自立活動6コミュニケーションー（5）状況に応じたコミュニケーション】</p> <p>★参考資料、有効だった教具・教材等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自律心を育む！生徒が変わる 中学生のソーシャルスキル指導法」（ナツメ社） ・絵本「ちきゅう」（偕成社）…生徒に説明させるために活用（他の絵本で可能） 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法]</p> <p>対象生徒 B の願いは「トラブルの対処ができるようになりたい」である。これを自立活動の目標に設定し、B が経験したトラブルや予想されるトラブルを想定したソーシャルスキルトレーニングを、継続的に行ってきた。3 年生では、上記の本から「ひとつのテーマで話し合う」や「気持ちを言葉にして伝える」、「説明する」等のスキル学習を行った。</p> <p>○SST「説明するスキル」</p> <p>(1) ワーク 1 説明するスキルのポイントをおさえよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明する内容を整理する ・何を説明するのか明確にし、伝える順番を考える ・相手の表情や動作を見て、説明した内容が伝わったか確認する <p>(2) ワーク 2 説明の仕方について考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者に説明している場面のイラストを見て、良いところや悪いところを考えさせる。 <p>(3) ワーク 3 説明するスキルの練習をしよう</p> <p>◎指導者と B で、絵本「ちきゅう」の中から自分が選んだ絵を使ってペア活動を行う。</p> <p>①指導者が描かれているものを説明し、B はそれを手掛かりに絵を描く。</p> <ul style="list-style-type: none"> →絵のテーマを伝え、具体的な名称も出しながら伝え、描かせていく。 →合っている所は「正解」と伝え、違っていた所は言葉だけでなく身ぶりも交えて伝え、質問に答えながら絵を描かせていく。→B は絵を完成させる。 →実物の絵と比べて、B と指導者が感想を話し合う。 <p>②生徒 B が描かれているものを説明し、指導者はそれを手掛かりに絵を描く。</p> <ul style="list-style-type: none"> →B は絵の説明をする。→指導者は説明通りに描き、わからないときは B に具体的に質問することで確認しながら描く。→指導者は絵を完成させる。 <p>③振り返りをする→実物の絵と比べて、説明の良かった点と改善すべき点を B と指導者がそれぞれ話す。→良い説明の仕方について確認し合う。</p> <p>[児童生徒の様子、成果]</p> <p>★B が説明したことを振り返り、「具体的な名前を言えばよかったんだ。」「相手の質問に対して合ったときは、表情でもうなずくと良かった。合っていないときは違う説明をいろいろと考えて伝えることができた。」と語った。状況に応じた対処の仕方を学ぶことができた。</p> <p>★「説明するスキル」の SST は、高校入試の面接に向けて自分の PR や中学時代に頑張ったこと、希望する高校への志願理由を指導者に話す課題として活用している。</p>	

中学校	自分に合ったコミュニケーションの方法を考える
<p>★対象生徒 広汎性発達障害・選択性緘黙症</p> <p>★対象生徒の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・極端に人目を避け、人前では一切話さない。動作も非常にゆっくりである。 ・肌を見せることに抵抗があり、半袖、半ズボンが身に着けられない（体操服のハーフパンツは小学生の時に練習して可）、靴下が脱げないなどのこだわりがある。 ・学力は非常に高い。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カードやメモ帳を使って、必要なことを伝えられる。 ・自分の関心があることについて、相手に伝えられる。 <p>【自立活動 6コミュニケーション-（4）】</p> <p>★参考資料、有効だった教具・教材（お役立ちグッズ）等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単語帳 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法]</p> <p>1 1週間の振り返り</p> <p>(1) よかったこと、がんばったこと</p> <p>自己肯定感を高めるために、よかったこと、がんばったことなどをシートに書かせる。</p> <p>(2) 困っていること、心配なこと</p> <p>現時点で困っていることや心配なことについて書かせ、作戦タイムで解決策を考える。</p> <p>2 作戦タイム</p> <p>1 (2)の「困っていること」「心配なこと」について解決策を考える。できそうなことを提案しつつ、「自分でできること」「支援があればできること」「今はできないこと」などに整理する。特に大きな行事の前は、早めに当日までの予定を示して見通しをもたせ、不安を軽減するようにしている。宿泊学習前には、学級担任、保護者も交えて当日の動きについて確認した。</p> <p>また、普段よく使う言葉を単語帳に書かせて、必要な時に使うよう促している。</p> <p>(例)「おはようございます」「お願いします」「着替えをさせてください」</p> <p>「学校に連絡してください」(登下校中の緊急時用) など</p> <p>3 自分の関心ごとについて伝えよう(雑談をしよう)</p> <p>今後、様々な人間関係を築いていくうえでのスキルの一つとして、雑談の練習をする。テーマは指導者と生徒が交替で決めている。</p> <p>[児童生徒の様子、成果]</p> <p>★体育の着替えで保健室に行くときや通級指導の前後などに、カードを使って挨拶ができる。</p> <p>★困ったことがあったら、その都度メモし、学級担任、教科担任、特別支援教育支援員などに見せて伝えることができる。</p> <p>(例) 技術の作業が不安なので、ついてきてほしい。</p> <p>授業中に出せなかったワークシートをいつ出せばよいかわからず困っている。など</p> <p>★雑談のテーマを自分で考えてくることができる。3往復くらいのやり取りができる。</p>	

中学校	目標に向かっていくために、困難さを少なくする指導
<p>★対象児童生徒 自閉スペクトラム症・ADHD</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校傾向、水・金の2日間、相談室登校。大勢の生徒がいる場が苦手。 ・パソコンの技能検定（エクセル）を受検し、合格している。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のよさを再発見させ、自信を持たせる。 ・身近な人とのコミュニケーション力をつける。 <p>【自立活動6コミュニケーション（5）状況に応じたコミュニケーション】</p> <p>★参考資料、有効だった教具・教材（お役立ちグッズ）等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100円ショップのカードゲーム 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>【学習内容と指導方法】</p> <p>①ソーシャルスキルトレーニング（タブレット）</p> <p>○毎回、テーマを決めて、自分の思いを表出させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困ったときの対処方法や折り合いの付け方を考える。 ・本時の振り返りをする。 <p>○注意したこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なかなか思いつかない場合は、こういう人がいたらと想像しながら書かせる。 <p>「先生はこんなことがあって困ったよ。想像して書いてみて。」</p> <p>②教科の復習や興味のあることをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットでゲーム感覚でできる数学の問題をする。 ・100円ショップで購入したカードゲームの遊び方の説明を本人にしてもらい、教師と一緒にゲームをする。 <div data-bbox="1018 741 1362 1016" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="901 1039 1394 1346" data-label="Image"> </div> <p>【児童生徒の様子、成果】</p> <p>★ 3年になり登校日数は減り、通級のある金曜日は登校できていたが、通級の時間も休むことが多くなった。9月より、家庭の問題で悩みを抱え、なかなか進路も決まらず、精神的にも安定しなかった。泣いて事情を訴えることもあった。担任とも連携し、自分の夢をたっぷり話してもらい、10月には進路が決定できた。</p> <p>★ カードゲームを一緒にして、生徒のよさが実感でき褒めることも増えた。教師はゲームのやり方が分からないということにして、相手意識をもたせると、丁寧に説明ができた。進学先では、自分の目標を叶えるために前進して行ってほしい。そのためには、自分のよさを再認識させ、励ましていくことが大切だと感じた。</p> <p>★ 12月現在も、登校回数が減少し、進路指導の課題も生じているが、放課後等デイサービスには通っており、そこでは周りの人とコミュニケーションがとれている。福祉と繋ぐなど、中学校卒業後の支援の必要性を強く感じている。</p>	

中学校	コミュニケーションにおける困難さを軽減するための指導
<p>★対象生徒 自閉症の疑い</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> • 空気が読めないことを周囲から指摘され、自己肯定感が低い。しかし、毎回「～に困っています。」とその時に抱えている課題に気付き、解決に向けて意欲的である。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> • 困った場面を振り返り、その状況での適切な言動を知ることができる。 <p>【自立活動 コミュニケーション 6ー(5)】</p> <p>★参考資料、有効だった教具・教材（お役立ちグッズ）等</p> <ul style="list-style-type: none"> • 『SST 絵カード 状況の認知絵カード 中高生版1』（株式会社 エスコアール） • コミック会話（自作） 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法]</p> <p>①一週間にあった出来事を振り返る。 （生徒からは「よかったこと」はほとんど出てこず、困ったことをたくさん話してくれる。）</p> <p>②今日の解決したい事柄を確認する。課題は、①で生徒が話した困り事にする。 （特になければ、SST 絵カードを使って状況把握や適切な言動について学習する。）</p> <p>〈これまでの課題例〉</p> <p>『みんなの使っている言葉の意味がわからない』、『相手の気持ちがわからない』 『「人を怒らせる天才やな。」と言われたのはなぜか』など。</p> <p>• コミック会話の形式で、誰のセリフかやその時の気持ちなども視覚化する。また、ロールプレイングをして、言われたらどんな気持ちになるか、感想を言い合う。</p> <div data-bbox="336 1128 1291 1384" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>例：生徒 B：テストどうやった？</p> <p>友達 A：悪かった。</p> <p>生徒 B：<u>そっか…でも私は（点が）いい方だった。点が悪かったのは、努力していない証拠。努力すれば点は上がるよ。…</u></p> <p>→ 文字にして示すと、不快な表現であることに気がついた。</p> </div> <p>点数アップには、努力が必要だが、友達とはそれを助言できるほどの親密な関係ではない。また、友達であっても、傷ついたり、腹が立ったりする時があることなどを確認した。</p> <div data-bbox="336 1503 1291 1749" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>例：生徒 B：テストどうやった？</p> <p>友達 A：悪かった。</p> <p>生徒 B：<u>あ～そうなんだ。（と言って 「友達の言葉が続かなかったら話題を変える」と答えた。）</u></p> <p>※ _____部分のように自分で言い換えることができた。</p> </div> <p>③できたことやわかったことを確認する。</p> <p>④ごほうびタイム（歌を歌ったり、絵を描いたりなど生徒の好きなことをする。）</p> <p>[児童生徒の様子、成果]</p> <p>★ 学習中に、実際に友達にとった言動が、相手に不快な思いをさせていると気付いて、「あ～確かに。」や「イラッとする。」と呟く場面があった。</p>	

中学校	英語のフォニックスルール（音と文字のルール）の指導
<p>★対象児童生徒 自閉スペクトラム症</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語のフォニックスルールの1文字1音は、ある程度覚えられているが、子音と母音でできる音節の音の変化に弱い。 書くことに対して意欲がわかず、書いて練習をするフォニックスルールのワークシートを用いての練習では、ターゲットを忘れてしまい書いている最中に寝てしまう。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 1文字1音のルールと2文字（子音と母音）のルールを定着させる。 <p>【自立活動 2－（3）】 心理的な安定 障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲</p> <p>★参考資料、有効だった教具・教材（お役立ちグッズ）等</p> <ul style="list-style-type: none"> 「フォニックス・ルールカード」 mpi 練習カード、ワークシート （参考資料 「Active Phonics」 mpi、「発達が気になる子の学習・運動が楽しくなるビジョントレーニング」 北出勝也 ナツメ社） 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> 1文字1音ルールは毎回26文字を練習し、2文字ルールは毎回2つずつ子音を選び、5つの母音との音の変化を練習する。1文字、2文字共に以下①②の順で練習し、③へ進む。 <ol style="list-style-type: none"> ① 教師がルールカードを見せて音を聞かせる。その後、音を聞いてカードを選ばせて、正しく理解できているか確認をする。 ② 見せたカードの音を言わせ、正しい音かどうか確認する。 ③ 子音と母音をセットで見る練習をするための練習カードで、手や目を動かさせながら文字を読む練習をする。 ④ ワークシートを用いて、音と文字が結びついて理解できているか確認する。また、単語を音節に分けて読んだり書いたりする練習をする。 <p>[児童生徒の様子、成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 書く量や扱う変化する音の数を制限したり、手順をルーティン化したりすることで、スムーズに学習に取りかかれるようになってきた。学習方法を変えてから、保護者から「実は以前ビジョントレーニングを受けていたが終了してしまい、気になっていた」と相談があった。今後も目や手を動かすことも取り入れつつ、フォニックスルールを定着させていきたい。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="231 1592 715 1899" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 文字が表す音と線で結ぼう。</p> <p style="text-align: center;">ワークシート</p> </div> <div data-bbox="683 1585 1198 1800" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">→</p> <p>la le lo</p> </div> <div data-bbox="1198 1585 1369 1727" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">li</p> <p style="text-align: center;"> </p> <p style="text-align: right;">練習カード</p> </div> <div data-bbox="970 1727 1369 1912" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>co lo no mo po du tu bu lu cu</p> </div> </div>	

中学校	落ち着いて行動できるようになるための指導
<p>★対象児童生徒 情緒障害</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年次にはカッとなるとすぐに手が出てしまう行動がみられ、心配した保護者が登校させない時期があった。 ・自分の興味関心が高い事柄に対してとことん調べ、集団の中で知識を披露する。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衝動的に行動することなく、落ち着いて行動することができる。 <p style="text-align: center;">【自立活動2心理的な安定—(1)情緒の安定】</p> <p>★参考資料、有効だった教具・教材（お役立ちグッズ）等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストレングスアプローチワークブック 山本眞利子 編著 フクロウ出版 ・マンガで身につく 自分コントロール 菅原 洋平 監修 金の星社 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法]</p> <p>①ストレングスアプローチワークブック を使った自己分析</p> <p>○ストレングスマップアプローチ（ストレングスをマップ化する）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 自分の強みをマップ化する ・方法 ア 自分のうちに備わっている、自分らしさや自分の良さを探す <li style="padding-left: 20px;">イ 自分の周りにあるもの、いてくれる人を探す <li style="padding-left: 20px;">ウ ア・イで探したものをストレングスマップに書き込む <li style="padding-left: 20px;">エ スtrenグスマップの中心に、困っていることに対しこれらをどこでどのように活かしているか線を引く <li style="padding-left: 20px;">オ まだ活かしきれていないものがあれば、それらを今後どのように活かしたいか、活かせそうか線を引く <p>②マンガで身につく 自分コントロール を使った学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 授業のプリント整理ができない、家庭で食事後の片づけができない ことへの対処 ・方法 「ここは何をするとところ？」を読み、自分にも当てはまること、これから自分にできそうなことなどを一緒に考える <p>[児童生徒の様子、成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 本児は音楽が好きで、部活動での自分の活躍や友達との演奏が支えになっている。また、部活動の中で人とのかかわり方や言葉の掛け方などを練習することで、学級の中でも穏やかな声掛けをすることができるようになってきた。 ★ パソコン操作が得意なので、一緒にタブレットを使って進路について考えたり、興味を持っていることについて調べたりしている。 ★ 衝動的に暴力をふるうことはなくなったが、感情が安定せずイライラすることはあるようで、担任とともに見守っていかなくてはならないと感じている。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>	

中学校	じっくりと考えて、行動できるようになるための活動
<p>★対象児童生徒 情緒障害</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抽象的に物事を考えることができない。また、文字を丁寧に書いたり、漢字を書いたりすることが苦手である。 ・友人や教師との短い日常会話は支障なく行えているが、落ち着いて話内をして、考えを深めることが苦手である。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を整理し、根拠を持って対応することができるようにする。 <p>【自立活動4環境の把握—(2)環境や認知の特性についての理解と対応】</p> <p>★参考資料、有効だった教具・教材（お役立ちグッズ）等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブロックス デュオ（陣取りゲーム） ・キャット&チョコレート（カードゲーム） 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法]</p> <p>①ブロックス デュオ を使った行動の言語化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 ゲームのルールや持ち駒を置いた理由を言語化することで、情報を適切に理解し処理できるようにする。 ・方法 <ul style="list-style-type: none"> ア ルールを感覚的に理解し、慣れるまでゲームを繰り返す。 イ 対戦をこなしながら、勝つために必要なことを単語でまとめていく。 ウ ゲームのルール、勝つための戦略を丁寧な言葉で表現する。 エ ゲーム終了後に駒を置いた理由を説明できるようにする。 <p>②キャット&チョコレート を使ったアイデアのやり取り</p> <ul style="list-style-type: none"> ア ピンチカードとアイテムカードを引く。 イ 引いたピンチカードをアイテムを使っていかに合理的に乗りきるかを考える。 ウ 相手の話を聞き、本当にピンチを乗り切れるのか、アイデアが面白いのかを判断する。 エ ゲームの後は、相手のアイデアの良かったところ、面白かったところを振り返る。 <p>[児童生徒の様子、成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 本児は、家庭が複雑ではあるが、祖父母との生活の中で、社会性や善悪の判断を身に付けることができている。 ★ 感情が高ぶると言動が暴力的になることがあるが、クールダウンする方法を身に付けている。 ★ 文章を書くのが苦手であり、書く意味を見出せないときには、文章を書こうとしない。しかし、ゲームのときは、書くことが少しかけてきている。 ★ 友達に自分の考えを伝えたり、友達の考えを具体的にとらえて、会話に結論を出したりすることができるようになってきた。 	



高等学校	自己理解を深め、コミュニケーション力を高める指導
<p>★対象児童生徒 ADHD</p> <p>★対象児の特徴 幼少期からの保護者による虐待が起因と思われる特性があるが、穏やかで思いやりのある性格でコミュニケーション力や学習能力が高いという長所も多い。学校生活では大きな問題はないが、思わぬところで虐待の影響と思われる行動をすることがある。</p> <p>★目標 自己理解を深めて、就職に向けての様々な準備を自ら把握し、計画を立てて実行する。</p> <p>★参考資料、有効だった教具・教材等 高松圏域自立支援協議会 発達障害部会制作「おとなになるための本」</p>	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法]</p> <p>1. 社会に出るにあたり、これから身につけておきたいことは何か考え、対処する これから社会に出ていくために必要な力や、不安に思うことを対象生徒と話し、①携帯電話を持ってSNSなどの正しい使い方を学習する ②お金の使い方に関する一般常識を身につける ③目上の大人と敬語を使ってコミュニケーションを取れるようにするの3点に絞った。①は一番心配していたが、LINE やインスタグラムを始め、早々に指導者よりも詳しくなった。友人関係が良好なこともあって使い方に関しても、一通り指導したが、心配するようなこともなく節度を守って利用できている。②小遣いは3千円程度与えられていたが、余ったら貯めておかずゲームセンターで使い切ったりしていた。相談指導員と話し合い、まずは自分の思うように使ってみるという経験も重要なため、大きな額でもないことからひとまず静観することにした。③は、相談指導員の先生と面談をするときに、本を読んだ感想などのテーマで敬語を使って話を広げる練習をすることにした。</p> <p>2. 就職試験に向けて 対象生徒は学習能力に問題がないので、他の就職活動をしている生徒と同じペースで会社見学や、進路決定、必要書類準備など滞りなくこなし、高齢者施設への就職を決めた。面接では、人の目を見て話しづらいことや、しゃべっている途中で自分の発言に自信がなくなり、語尾をごまかしたり、言い切れないという癖があったので、その点を何度も練習して改善した。当日は話しやすいように優しく聞いてくれたこともあり、言いたいことを伝えることができたと言っていた。</p> <p>[児童生徒の様子、成果] 就職決定後の相談指導員との面談をすっぽかすということがあった。読んだ本の感想を話すテーマであったが、本が読めておらず嘘をついて逃げ出した。その後の指導には素直に従ったが、正直に状況を説明して理解や許しを得るということができず、とりあえず逃げ出すという行為を安易に選択したことが日頃の誠意のある生活態度からは全く想像できず、周囲をかなり驚かせた。これまでの生育環境の中で自分を守るために身につけてしまった行動かもしれないが、勤務先であればどのような大きな事態を招くかを時間をかけて指導した。その後は大きな問題は見られないが、自分の状況を正しく説明することが苦手なこと、嫌なことや気が向かないことから逃げ腰である様子が見受けられ、あまり改善できていないのではないかと不安は解消しきれていない。</p>	

- ★対象生徒 ASD
- ★対象生徒の特徴
- ・対人交流が受け身的で、言外の意味を汲み取ることが苦手である。
 - ・マイペースな行動や指示を聞いていないことが原因で、提出物が遅れたり、集団での行動についていけないことがある。
- ★目標
- ・卒業後の就労を継続させていくために、社会人としての基本的なビジネスマナーを身につける。
- 【自立活動6コミュニケーションー(5)】
- ★参考資料、有効だった教具・教材(お役立ちグッズ)等
- ・知的障害や自閉症の人たちのための見て分かるビジネスマナー集(ジアース教育新社)
 - ・マンガ版ビジネスマナー集鉄太就職物語(ジアース教育新社)

学習内容や指導方法、児童生徒の様子等

- [学習内容と指導方法]
- ①指示の聞き方のマナーとして、ふさわしくないものについて考える。
 - ②正しい指示の聞き方について考える。
 - ③職場での上司とのやりとりをロールプレイする。
 - ④6W3Hに気を付けて指示内容を聞き取り、メモを取る練習をする。

ビジネスマナー 仕事の指示を受ける

①の導入の目的


仕事は、①誰がされたことを誰がやりながら、②何を、③いつまでに、完了します。指示するよりに行われたか、指示が分からないままでは、仕事はできません。上司や同僚から仕事の指示を受ける時のよりにすれば、頼まれた仕事を誰かにやりながらできるのか、ロープを巻いて考えていきましょう。

1. 指示の聞き方のマナー

◎◎どんな聞き方がマナー違反なのか考えて、ふさわしい言葉を入れよう。

- ・()をしながら聞く。
- ・分からないことがあっても()しない
- ・指示されたやり方よりも、自分の考えたやり方の方がよいと勝手に判断し、指示された以外のことをする

問：Aさんが指示されたことと違うことをしているのを見たとき、Bさんはどう思うでしょうか？吹き出しにBさんの気持ちを考えて書いてみましょう。



②. 正しい指示の聞き方

- ①相手の顔(目や口元)を見て聞く
- ②()を取る
- ③最後まで聴く
- ④理解が終わるまでは集中して聞く。
- ⑤確認(復唱)する

指示が終わった後、「〇〇すればよろしいですね」と、その指示内容を自分で言葉にして相手に確認する。

※メモや復唱のポイント：6W3Hに気を付けて！

↑どのような項目か考えてみよう。答えは裏面にあります。

⑥頼まれた仕事をし終わった時には、頼まれた人に()をしよう。

③. 実際に指示を聞きとる練習 職場での会話をロールプレイしてみよう。

課長：島田さん、この会議資料を60部印刷しておいてもらえますか？

島田：はい、分かりました。60部ですね。いつまでにやればよろしいですか？

課長：今日の17時までに、私のところまでよろしく。

島田：印刷室の印刷機を使ってもよろしいですか？

課長：いいよ。印刷機でホチキスもできるから。

島田：分かりました。

島田さんの良いところ、付け足すとしたらどこを付け足すとよいか考えよう。

よいところ： _____

付け足すとしたら： _____

聞き取りワークの意にこの紙で山崩りにしよう。

次に、先生が上の会話をもう1度読むので、必要な情報を聞き取って表に書いてみよう。場合によっては書かなくていい項目もありますよ。

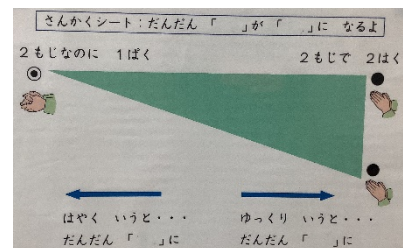
6W3H	具体的な内容を記入しよう
WHAT	【何を】
WHERE	【どこで、どこに】
WHEN	【いつ(まで)に】
WHO	【誰が】
WHOM	【誰に】
WHY	【なぜ】
HOW	【どのように】
HOW MANY	【いくつ】
HOW MUCH	【いくらで】

- [児童生徒の様子、成果]
- ★就職先から内定をいただき、就労が間近に迫っていることもあり、意欲的に活動に取り組んでいた。メモを取るだけでなく復唱することでより理解が深まることに自分で気づけた。

小学校、中学校

言語障害・難聴に関する課題への指導

小学校	構音障害の児童への拗音の発音指導
<p>★対象児童生徒 低学年 機能性構音障害</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拗音において会話の中では「シャ」が「サ」、「ショ」が「ソ」に置換しているが、「シャ・シュ・ショ」の単音であれば発音できる。 ・書字において、筆圧が弱く鏡文字になることもあり、形を整えて書く練習が必要だが、手本をなぞり書きすることは進んで取り組める。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滑らかな「シャ行」の発音を獲得し、語彙を増やすことができる。 <p>【自立活動6コミュニケーションー(2)】</p> <p>★参考資料、有効だった教具・教材(お役立ちグッズ)等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バナフォン(mpi) ・おしゃべりバード(輸入元 サンタ) ・拗音さんかくシート(海津亜希子、杉本陽子『アセスメントと連動した効果的な読みの指導』株式会社 学研教育みらい) 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法]</p> <p>①口と舌の体操</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鏡を見ながら口や舌の体操をして、口の周りをゆっくり大きく動かすようにする。 <p>②発音練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「シャ」の発音に繋げるために、初めの口の形が「イ」の口であることを一緒に確認する。 ・文字と音がどう混ざり合い(速く言う)、どう分解するか(ゆっくり言う)の再確認をするために、拗音さんかくシートを使い、指で文字をなぞりながら、発音するように声をかける。 ・五十音表を使って「シャ」の前後に音を足して練習する。 ・拗音が入った単語カードを使って、発音練習をする。 ・意欲的に取り組めるように「おしゃべりバード」(録音再現機能付き)や、「バナフォン」を使って、上手に言えた音や語を自分で聞くようにする。 <p>③書字練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発音練習で使った単語カードから、自分で書きたい言葉を選び、小さい「ゃ」の場所を一緒に確認してから、なぞり書き→手本を見て書くの手順で書く練習をする。 <p>[児童生徒の様子、成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 「シャ」をゆっくり言ったり、速く言ったりすることで音の混ざり合いを確認し、初めの口形「イ」を意識することができ、はっきりとした発音につながっていた。 ★ 「おしゃべりバード」や「バナフォン」を使うことで、自分の発音を楽しく振り返ることができ、意欲的に発音練習に取り組むことができた。 	



小学校	力行音の発音指導
<p>★対象児童生徒 高学年 構音障害</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・力行音がタ行音に置換している。力行音とタ行音の聞き分けはできている。 ・基本的な読み書きは流暢にできる。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・力行音を正しく構音することができる。 <p>★参考資料、有効だった教具・教材（お役立ちグッズ）等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うがい体操（自作） ・絵カード（自作） 	
<p>学習内容や指導方法、児童生徒の様子等</p>	
<p>[学習内容と指導方法]</p> <p>① □の体操</p> <p>□を開けたり閉めたり、舌を上下左右に動かしたりする。その後に発声練習もする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舌や口周りの筋力を上げ、動きを滑らかにする。 <p>② うがい</p> <p>ガラガラうがいをすることで力行音を発音するときの舌の位置を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うがいをしながら口の形を「あいうえお」と動かす。 ・徐々に水の量を少なくし、水が無くても力行音の「k」の音ができるようにする。 <p>③ 力行音の発音練習</p> <p>単音の発音から始め、単語へと文字数を増やしていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上向きでうがいをするときと同じ姿勢で「か」と発声する。顔が前に向くように徐々に角度を変える。 ・前向きで発音するとき、舌先が上がっている場合、スプーンなどで舌先が上がらないように押さえて発音する。 <p>※ 10回の発音の中で正しく発音できた回数を記録したり、シールを貼ったりするなど、単調な発音練習にならないように工夫する。</p> <p>④ 力行音の単語練習</p> <p>単語の発音練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・力行音が語頭、語尾、語中にある単語の発音練習をする。初めはゆっくり発音することを心がけ、徐々に通常の速さに近づける。 ・力行音がある単語とタ行音がある単語をランダムに提示し、力行音とタ行音が混同しないようにする。 <p>[児童生徒の様子、成果]</p> <p>★ うがいを始めたことで、日常の歯磨きの際にも意識づけることができ、力行音の発音時の正しい舌の位置が定着した。</p> <p>★ 単語は正しく発音できるようになった。日常会話でも正しくできるようになっていく。</p>	

小学校	語彙を広げ、正しく読んだり書いたりする力を高める指導
-----	----------------------------

★対象児童生徒 低学年 難聴

★対象児の特徴

- ・活発でおしゃべりが好きだが、語彙が少ない。
- ・拗音について苦手意識が強く、読み間違いや書き間違いが多い。

★目標

- ・理解・表出できる語彙を増やす。
- ・拗音の読み書きに慣れて、正しく読んだり書いたりすることができる。

【自立活動 6コミュニケーション — (2) (3)】

★参考資料、有効だった教具・教材（お役立ちグッズ）等

- ・多層指導モデルMIM 読みのアセスメント・指導パッケージ（学研）

学習内容や指導方法、児童生徒の様子等

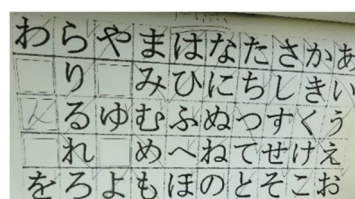
[学習内容と指導方法]

1 語彙を広げる

(1) 五十音しりとり

- ①五十音表【写真1】を一人1枚ずつ配る。
- ②しりとりをして、自分が言った平仮名を消す。
例：「らっぱ」…「ら」「つ」「は」の3字を消す。
- ③残った平仮名数が少ない人が勝ち。

→文字数の多い言葉を使うと、たくさんの平仮名を消すことができることに気付くよう声を掛ける。五十音順に慣れるように、平仮名を消す時は自分で見つけられるように見守る。指導者も参加することで、いろいろな言葉を出す。

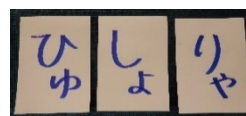


【写真1】

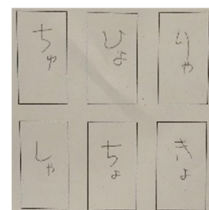
2 拗音の読み書きに慣れる

(1) 拗音の聞き取りと書き取り

- ①拗音を書いたカード【写真2】を見ながら指導者と一緒に音読する。
- ②拗音カードをシャッフルして指導者が読む。
- ③聞き取った拗音を復唱してワークシート【写真3】に書く。
- ④拗音カードで答え合わせをする。
→書きにくい時は「みゃ」は「みーや」のように、再度指導者が読む。



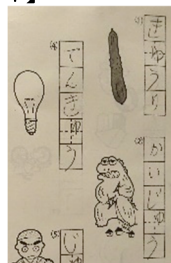
【写真2】



【写真3】

(2) 拗音の入った言葉を書いたり読んだりする

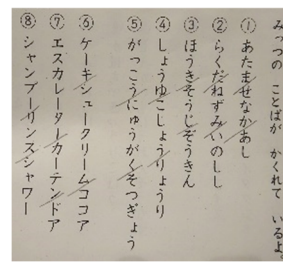
- ①マスに合わせてイラストに合う拗音を書く。【写真4】
- ②拗音の入った言葉を音読する。



【写真4】

(3) 言葉のまとまりを意識する


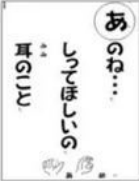

- ①「多層指導モデルMIM 読みのアセスメント・指導パッケージ」の「ことばさがし」プリントを使って、言葉のまとまりに区切る。【写真5】
- ②言葉のまとまりを意識して音読する。




【写真5】

[児童生徒の様子、成果]

- ★「五十音しりとり」は簡単に短時間で取り組めるので飽きずに繰り返し楽しむことができ、しりとりが長く続くようになった。五十音表に慣れて、平仮名を見つけるのが速くなった。
- ★頻繁に拗音や拗音の入った言葉を読み書きしたり、スモールステップで称賛しながら進めたりしたことで、拗音への苦手意識が少し軽減され、正確に読み書きできるようになってきた。

小学校	障害理解、自己理解を深めるための指導
<p>★対象児童生徒 高学年 中等度難聴</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> • 学級の友達は自分の障害について理解してくれ、配慮も得られていると感じており、自分から友達にさらに配慮を要求することはない。 • 発音は聞き取りやすく、静かな環境で近距離なら、補聴器の使用によって、おおむね話を解することができる。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自己紹介で周りの人に配慮して欲しいことをどう具体的に伝えるか考えられる。 <p>【自立活動 3—(3)】人間関係の形成(自己の理解と行動の調整に関すること)</p> <p>★参考資料、有効だった教具・教材(お役立ちグッズ)等</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「難聴理解カルタ」(難聴児支援教材研究会) ② 「なんちょうなんなん」(難聴理解促進アニメ) YouTube で視聴可 ③ 難聴者の「自己紹介 BOOK」(塩野義製薬ホームページより) ※③のみ成人対象 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 自分が難聴で困ること、配慮があれば助かることについて知る。 「難聴理解カルタ」を使って、遊びながら読み札に書かれている内容を確認する。自分が同感できる内容を選び、どういったことが困るかを発表する。そして、先生や周りの人に配慮してもらおうと助かること具体例を知る。 ② アニメ「なんちょうなんなん」(難聴啓発アニメ)を視聴し感想を発表する。 世間では難聴という障害について、知らない人がほとんどで、実は周りの人は知りたがっている。そこで、難聴を理解してもらうためのいろいろな取り組み(難聴者自身からの発信)を知る。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="225 1240 368 1420" style="text-align: center;">  <p>(難聴理解カルタ)</p> </div> <div data-bbox="384 1240 523 1420" style="text-align: center;">  <p>(なんちょうなんなん)</p> </div> <div data-bbox="560 1216 983 1431" style="text-align: center;">  <p>(自己紹介 BOOK)より</p> </div> </div> <ol style="list-style-type: none"> ③ 社会人になった難聴の先輩の体験談から学ぶ。 シオノギ製薬の社員で難聴の方が、自社のホームページに難聴についての説明や日々の生活の中で困ったこと具体例、また、その対応について載せているのを読み、社会に出た時の対応策について知る。また、自己紹介するとき難聴について伝えておくこと、配慮してほしいこと具体例を参考にして自分でも伝えたいことを考え、自己紹介カードを作成する。 <p>[児童生徒の様子、成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 「難聴理解カルタ」や「なんちょうなんなん」は多くの難聴の子どもたちから意見を募って作ったものであるため、共感できる場面をいくつか挙げ、補足説明することができた。 ★ 補聴器の効果について「補聴器を付けた時の聞こえを10とすれば、外すと3ぐらいになる」と具体的に数字で説明できた。自己紹介の学習については、まだ、学習の途中であるが、中学進学に向けて、難聴についての発信を自ら行えるように本児と考えていきたい。 	

小学校	障害理解、自己理解を深めるための指導
<p>★対象児童生徒 高学年 感音性難聴</p> <p>★対象児の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通級の時間を楽しみにしており、自分の意見を積極的に伝えることができる。 ・活発な性格であり、興味のあることには積極的に参加することができる。 ・通級の時間では分からないことがあったら聞き返すことができるが、小学校では聞き返すことが難しく、曖昧なままで終わらせることがある。 <p>★目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞こえにくさによる生活の困難さについて、効果的な支援方法を考える。 <p style="text-align: right;">【自立活動 3人間関係の形成—(3)】</p> <p>★参考資料、有効だった教具・教材（お役立ちグッズ）等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ワーキングメモリーとコミュニケーションの基礎を育てる聞き取りワークシート③ イメージして聞こう編」（かもがわ出版） ・「なんちょうりかい（難聴理解）かるた」（難聴児支援教材研究会） 	
学習内容や指導方法、児童生徒の様子等	
<p>[学習内容と指導方法]</p> <p>『聞き取りワークシート③』</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ある程度の長さのある話を聞き、その中から重要な部分を判断し、メモを取る 前もって問題を確認したり、イメージイラストを活用したりしてスムーズに重要な部分をメモできるようにした。 ② 聞き取れなかった内容については質問して、再度確認する 「〇〇の部分をもう一度言ってください」など、具体的に質問するようにした。 <p>『なんちょうりかい（難聴理解）かるた』</p> <ol style="list-style-type: none"> ① かるたを通して自分の困難さについて考える かるたの内容が自分に当てはまるか当てはまらないかを判断し、カードを振り分けた。その後、当てはまるカードはノートに書き写し、具体的な場面をノートに書いた。 ② 解決策を考える 具体的に書いた困難さに対して、先生や友達にどのように対応してほしいかを考え、支援方法をノートに書いた。 <div style="text-align: right;">  </div> <p>[児童生徒の様子、成果]</p> <p>★ある程度長さのある話は一度聞いただけでは、メモを取ることが難しかった。しかし、分からなかった部分を1つ1つ丁寧に確認することで、正しくメモを取ることができるようになってきた。</p> <p>★自身の聴覚障害に触れる内容の教材については、拒否することが多かったが、ゲーム感覚で行える「難聴理解かるた」には興味を示し、自分から積極的に考えることができた。</p> <p>★生活の中で困っていることを客観的に振り返ることで、具体的な場面を絞り込むことができた。</p> <p>→「英語はね 聞き取りにくい音が てんこもり」では、[five]が「イブ」に聞こえる等、具体的な聞こえ方について話すことができた。また、レコーダーの近くにロジャー（補聴援助システム）を置いて聞こえやすくしてほしい等、具体的に要望を考えることができた。</p>	

